教育課程

(履修要項)

(令和3年度)



聖徳大学短期大学部
聖徳大学短期大学部専攻科

教育課程(履修要項)(令和3年度) 聖徳大学短期大学部

日 <i>が</i> はじ	(5めに 1. 教育課程の使い方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
聖徳	京大学短期大学部 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー) 教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー) 入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)
Ι.	全学共通科目 12 聖徳教育、教養科目、外国語科目(別表 1) 12 健康教育科目(別表 2) 13 情報活用科目(別表 3) 13 帰国子女科目(別表 4) 13
Π.	保育科 第一部 幼稚園教員・保育士養成コース (別表 5 - 1、5 - 2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Ⅲ.	総合文化学科 履修要項(各コース共通)(別表 1 O)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
	総合文化学科 各種資格 図書館司書 (別表 1 5)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
IV.	専攻科 医療保育専攻 (別表 2 0)···································
V	免許・資格取得の 課程履修登録(短期大学部)(別表22)

はじめに

この教育課程(履修要項)は、令和3年度に入学された学生の皆さんを対象に、履修にあたっての諸注意、履修の方法についての説明が記載されています。本冊子は入学時に配布し、卒業時まで使用しますので、紛失しないように大切に扱ってください。また、必要箇所については熟読し、理解を深めていただき、授業に臨んでください。

1. 教育課程の使い方

所属する学科・コースの履修要項の指示に従い、該当の別表より履修する科目を確認してください。

別表の分類

別表は、次の3つに分類されます。

- (1)全学共通科目 (A類) = 聖徳教育科目・教養科目・外国語科目・健康教育科目・情報活用科目 (・帰国子女科目)
- (2)専門教育科目 (B類) =各学科・コースに設置された専門教育科目
- (3)教職・資格関係科目=免許・資格を取得するための科目で、原則として、卒業単位数に含まれない 科目(但し、総合文化学科においては、教職・資格関係科目であっても卒業 単位数に含まれます)

特に(1)、(2)については必修科目(卒業するために必ず履修しなければならない科目)や選択必修科目(卒業するために、必ずきめられた条件により必要な単位数を修得しなければならない科目)が多数含まれているので履修にあたってはよく確認してください。

2. 学習の流れと履修にあたっての注意事項

皆さんの年間の学習の流れをここに分かりやすくまとめました。併せて学生便覧の「履修関係の項目」も熟読して学習に取り組んでください。

学期				春			学			期						秋		7	学		期		
項目	入学・新学年	\Rightarrow	春学期授業開始	\Rightarrow	課程登録	\Rightarrow	履修登録・確認	履修取消期限	\Rightarrow	試験	\Rightarrow	成績発表・追再試	\Rightarrow	秋学期授業開始	\Rightarrow	履修登録・確認	履修登録期限	\Rightarrow	試験	\Rightarrow	成績発表・追再試	\Rightarrow	進級・卒業
時期			4月上旬		春学期		4月下旬	5 月 10 日		7月下旬		8月下旬		9月中旬		10 月上旬	11 月 10 日		1月下旬		3月上旬		3 月下旬

①学期

1年間の学期は、春学期(4月~9月末)・秋学期(9月末~3月末)の2学期に分かれ、それぞれの学期で授業期間、定期試験期間などが設定されています。本学で設置されている科目は、一部の通年科目を除いて春学期・秋学期の学期毎に開講されています。授業期間や行事等は「学生便覧」の学事日程で確認しておいてください。

②単位制と単位認定について

大学では、単位制が採用されています。単位制とは一定の学修量を単位として表し、所定の期間で量的修得を卒業の判定基準とする方式です。各授業科目の単位修得の認定は、一定時間以上の授業に出席し、かつ、科目担当教員の試験等に合格したものにその単位が与えられます。授業科目の授業方法や修得できる単位数については各自別表で確認してください。

授業科目を履修し、試験を受けると、成績の評価がなされます。成績評価は、100点を満点として60点以上(S・A・B・C評価)の場合には合格として所定の単位が与えられます。

③授業時間について

授業時間は9.0分を1授業時間として行われます。実験・実習・実技科目等の中には1.3.5分で行われるものもあります。

4)履修登録

授業科目を履修するためには、各学期開始時に履修登録を行わなければなりません。登録をしなかった科目については、単位の修得は認められません。なお、履修年次配当で自分の学年より上級年次に配当されている科目は履修できません。

また、一度履修登録をした科目を他の科目に変更することは、原則として認められません。履修 登録の方法については各学期開始時にお知らせをいたします。

⑤履修取消について

履修取消のみ指定期間内に限り認めます(<u>春学期:5月10日</u>まで <u>秋学期11月10日</u>まで いかなる理由であっても上記期間を過ぎた取消は認められません)。履修登録に際しては、慎重に 履修計画をたてて臨むようにしてください。

⑥再履修について

前年度履修科目において不合格になった科目を翌年度以降に再度履修することを再履修といい、その年度にあらためて履修することが出来ます。登録方法は、「再履修許可願」を提出するとともに、履修登録をする必要があります。具体的な手続きについては各学期開始時に指示があります。なお、再履修科目と必修科目の受講時間が重なる場合は、各学科の教務委員の先生または教育支援課に相談してください。

⑦進級基準について

各年次から上級年次へ進級するには各年次終了時において、卒業要件単位数のうち、以下に記載する単位を修得しなければなりません。成績表で修得単位数を必ず確認してください。

1年次から2年次への進級・・修得単位数 18単位以上

但し、保育科第二部においては、下記のとおりとします。

1年次から2年次への進級・・修得単位数 8単位以上

2年次から3年次への進級・・修得単位数 14単位以上

⑧卒業要件について

卒業には次の要件を満たす必要があります。

- (1) 2年以上(保育科第二部においては3年以上)在学していること。休学期間は含まれない。
- (2) 卒業に必要な授業科目及び単位数を修得していること。
- (3) 本学で必須と定めた学校行事に参加する等の条件を満たしていること。
- (4) 授業料等校納金を完納していること。

3. 授業計画 (SYLLABUS シラバス)

○授業計画 (SYLLABUS シラバス) について

今年度開講する授業の名称、担当教員の氏名、単位数、開講時期、授業の目的・内容、使用する教材、成績評価の方法、受講をする上での注意事項やアドバイスについて授業担当教員が記した授業の計画書です。

熟読をし、円滑に授業が受講できるよう心がけてください。

授業科目名 ナンバリング 授業科目の履修の順序性や位置づけを表す記号・番号 サブタイトル 授業内容の副題 授業区分 ※1 単位数 科目の単位数 開講時期 ※2 出席要件 ※3 担当教員 担当教員の氏名 授業担当教員が研究室に在室している曜日・時間が書かれています。 到達目標と 学習の成果 授業科目の履修後に、授業担当教員が受講者に期待する知識や技能、あるいは行動に関する目標が書かれています。 学習成果 到達目標に対して、いかなる学習成果をもって評価するのか、その評価の基準が書かれています。 ディブロマボリシーとの関連 大業科目が、学位授与の方針(ディブロマポリシー)とどのように関連しているかが書かれています。カリキュラムマップのどこに位置づいているかが書かれています。カリキュラムマップのどこに位置づいているかが書かれています。 授業科目の授業実施方法と開講方法です。 「大きなど 教科書の他に使用する教科書です。 評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 評価の要点をどのような手段で、どのような基準で評価するのかが書かれています。 履修にあたっての注意点、アドバイスが書かれています。 履修にあたっての注意点、アドバイスが書かれています。														
サブタイトル 授業内容の副題 授業区分 ※1 単位数 科目の単位数 開講時期 ※2 出席要件 ※3 担当教員 担当教員の氏名 授業形態 ※4 質問受付の方法 授業担当教員が研究室に在室している曜日・時間が書かれています。 到達目標と 授業科目の履修後に、授業担当教員が受講者に期待する知識や技能、あるいは行動に関する目標が書かれています。 学習の成果 授業科目の履修後に、授業担当教員が受講者に期待する知識や技能、あるいは行動に関する目標が書かれています。 ディプロマポリシーとの評価の基準が書かれています。 ディプロマポリシーとの関連 授業科目が、学位授与の方針(ディプロマポリシー)とどのように関連しているかが書かれています。 授業科目の授業実施方法と開講方法です。 授業の方法と開請方法の別テキスト表の別書で使用する教科書です。 授業で使用する教科書です。 教科書の他に使用する参考書です。 教科書の他に使用する参考書です。 評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 運搬 履修にあたっての注意点、アドバイスが書かれています。 履修との注意事項や学習上の助	授業科目名	授業科目の	名称											
接業区分 ※1 単位数 科目の単位数 開講時期 ※2 出席要件 ※3 担当教員 担当教員の氏名 授業担当教員が研究室に在室している曜日・時間が書かれています。 到達目標と 授業利目の履修後に、授業担当教員が受講者に期待する知識や技能、あるいは行動に関する目標が書かれています。 学習成果 到達目標に対して、いかなる学習成果をもって評価するのか、その評価の基準が書かれています。 学習成果 到達目標に対して、いかなる学習成果をもって評価するのか、その評価の基準が書かれています。 一方では、	ナンバリング	授業科目の												
担当教員 担当教員の氏名 授業担当教員が研究室に在室している曜日・時間が書かれています。 到達目標と 学習の成果	サブタイトル	20/11/11/11/2												
質問受付の方法 授業担当教員が研究室に在室している曜日・時間が書かれています。 到達目標と 学習の成果	授業区分	※ 1	単位数	科目の単位数	開講時期	※ 2	出席要件	※ 3						
到達目標と 学習の成果 授業科目の履修後に、授業担当教員が受講者に期待する知識や技能、あるいは行動に関する目標が書かれています。 学習成果 到達目標に対して、いかなる学習成果をもって評価するのか、その評価の基準が書かれています。 ディプロマポリシーとの関連 授業科目が、学位授与の方針(ディプロマポリシー)とどのように関連しているかが書かれています。 技業の方法と開 授業和目の授業実施方法と開講方法です。 授業和目の授業実施方法と開講方法です。 授業和目の授業実施方法と開講方法です。 授業和目の授業実施方法と開講方法です。 技業和目の授業実施方法と開講方法です。 技業和目の授業を施力法と開する教材です。 表考図書 教科書の他に使用する教科書です。 教科書の他に使用する参考書です。	担当教員	担当教員の	氏名				授業形態	※ 4						
学習の成果 授業科目の履修後に、授業担当教員が受講者に期待する知識や技能、あるいは行動に関する目標が書かれています。	質問受付の方法	授業担当教	員が研究室に	こ在室している曜日	時間が書が	かれています。		•						
書かれています。	到達目標と	到達目標												
学習成果 到達目標に対して、いかなる学習成果をもって評価するのか、その評価の基準が書かれています。 ディプロマポリ シーとの関連 授業科目が、学位授与の方針(ディプロマポリシー)とどのように関連しているかが書かれていま す。カリキュラムマップのどこに位置づいているかが書かれています。 授業和目の授業実施方法と開講方法です。 接業で使用する教科書です。 テキスト、参考図書以外に使用する教材です。 参考図書 教科書の他に使用する参考書です。 評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 評価方法と採点 基準 履修上の注意事 項や学習上の助	学習の成果	授業科目の	履修後に、持	受業担当教員が受講	者に期待する	る知識や技能、ある	るいは行動に	- 関する目標が						
到達目標に対して、いかなる学習成果をもって評価するのか、その評価の基準が書かれています。		書かれてい	ます。											
ディプロマポリシーとの関連		学習成果												
シーとの関連 す。カリキュラムマップのどこに位置づいているかが書かれています。 授業の方法と開講方法の別 授業で使用する教科書です。 教材 テキスト、参考図書以外に使用する教材です。 参考図書 教科書の他に使用する参考書です。 評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 評価方法と採点 評価の要点をどのような手段で、どのような基準で評価するのかが書かれています。 基準 履修にあたっての注意点、アドバイスが書かれています。		<u> </u>												
授業の方法と開講方法の別 テキスト 授業で使用する教科書です。 教材 テキスト、参考図書以外に使用する教材です。 参考図書 教科書の他に使用する参考書です。 評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 評価方法と採点 評価の要点をどのような手段で、どのような基準で評価するのかが書かれています。 基準 履修上の注意事 項修にあたっての注意点、アドバイスが書かれています。	ディプロマポリ	授業科目が	授業科目が、学位授与の方針(ディプロマポリシー)とどのように関連しているかが書かれていま											
講方法の別 テキスト 授業で使用する教科書です。 教材 テキスト、参考図書以外に使用する教材です。 参考図書 教科書の他に使用する参考書です。 評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 評価方法と採点 評価の要点をどのような手段で、どのような基準で評価するのかが書かれています。 基準 履修上の注意事 項修にあたっての注意点、アドバイスが書かれています。	シーとの関連	す。カリキ	ュラムマップ	プのどこに位置づい	ているかが氰	書かれています。								
テキスト 授業で使用する教科書です。 教材 テキスト、参考図書以外に使用する教材です。 参考図書 教科書の他に使用する参考書です。 評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 評価方法と採点 評価の要点をどのような手段で、どのような基準で評価するのかが書かれています。 基準 履修上の注意事 項修にあたっての注意点、アドバイスが書かれています。	授業の方法と開	授業科目の	授業実施方法	去と開講方法です。										
教材 テキスト、参考図書以外に使用する教材です。 参考図書 教科書の他に使用する参考書です。 評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 評価方法と採点 評価の要点をどのような手段で、どのような基準で評価するのかが書かれています。 基準 履修上の注意事項や学習上の助	講方法の別													
参考図書 教科書の他に使用する参考書です。 評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 評価方法と採点 評価の要点をどのような手段で、どのような基準で評価するのかが書かれています。 基準 履修上の注意事	テキスト	授業で使用	する教科書~	です。										
評価の要点 授業科目の成績評価の方法や手順です。 評価方法と採点 評価の要点をどのような手段で、どのような基準で評価するのかが書かれています。 基準 履修上の注意事 項や学習上の助 履修にあたっての注意点、アドバイスが書かれています。	教材	テキスト、	参考図書以名	トに使用する教材で [*]	す。									
評価方法と採点 評価の要点をどのような手段で、どのような基準で評価するのかが書かれています。 基準 履修上の注意事	参考図書	教科書の他	に使用する	参考書です。										
基準 履修上の注意事 項や学習上の助	評価の要点	授業科目の	成績評価のス	方法や手順です。										
履修上の注意事 履修にあたっての注意点、アドバイスが書かれています。 項や学習上の助	評価方法と採点	評価の要点をどのような手段で、どのような基準で評価するのかが書かれています。												
項や学習上の助	基準													
	履修上の注意事	履修にあた	っての注意点	点、アドバイスが書:	かれています	す。								
言など	項や学習上の助													
	言など													

○授業計画(SYLLABUS シラバス)の項目について

- ※1 授業区分:聖徳教育、教養科目、専門教育科目、教職科目などが表記されます。
- ※2 開講時期:科目が開講される学期(春学期、秋学期、春学期または秋学期、通年)が表記されます。
- ※3 出席要件:学期末試験の受験資格要件(全授業回数の2/3以上出席 または 4/5以上出席)が表記されます。
- ※4 授業形態:講義、演習、実験、実習、実技などが表記されます。

	授業回数別教育内容	身につく資質・能力	予習・復習等
1回	毎回の授業タイトル(テーマ)と授業内容が書かれています。	授業回数ごとに、そ	予習・復習等
2回		の授業を終えた学生	に必要な時
3回		が、どのような知	間、及びそれ
4回		識、能力、技能等を	に準じる程度
5回		身につけることが期	の具体的な学
6 回		待されるかという内	習内容が書か
7 回		容について書かれて	れています。
8回		います。	
9回			
10 回			
11 回			
12 回			
13 回			
14 回			
15 回			
試験	試験方法が書かれています。		

○授業計画 (SYLLABUS シラバス) の閲覧方法について

授業計画(SYLLABUS シラバス)については WEB ポータルサイト「Active Academy」から閲覧します。詳細な閲覧方法は冊子『WEB 履修登録の手引』「シラバス閲覧」を参照してください。

聖徳大学短期大学部

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

聖徳大学短期大学部は、1933 年に創立された東京聖徳学園の建学の精神である「和」を教育理念としています。本学は、この理念を社会に創造的に活かしながら、常に新しい教育に挑戦するとともに、時代を超えて求められる多様な他者への尊敬と共感を大切にする人間性を備えた女性を様々な世界に輩出しています。

現代社会は、政治・経済・文化のグローバル化が進み、個人・社会の価値観が多様化・複雑化し、きわめて多くの複合的な問題に直面しています。このような変化の激しい社会において、人間の尊厳を見失わず、自ら新たな問いを立て多様な他者と協働しながら新たな価値を生むための力の育成が求められています。

聖徳大学短期大学部は、時代をリードする教育改革を進め、互いの価値観を共感的に受け 止める確かな人間性、グローバルかつローカルな視点と学際的な洞察力、社会で発揮できる 専門性の高い実践力をもつ人を着実に育成し、調和ある社会の発展に貢献しています。

聖徳大学短期大学部は、上記の教育理念に基づいて、以下の四つの教育目標を掲げます。

【教育目標】

- 1. 他者を思いやる協調性とともに、凛として生き抜いていくための確かな人間性を育成する。
- 2. 自己分析力、論理的思考力、自己管理能力を活かし、個別学問領域を超えたアイディアや洞察力と多面的な問題発見・解決力を育成する。
- 3. 専門分野に関する理論・知識・技能を修得し、理論と実践を結びつけて社会で発揮できる専門性の高い実践力を育成する。
- 4. グローバルな視野を備え地域で活躍できる専門性の高い実践力を発揮して、自分なりの 価値を見いだし、自らの意思で一歩を踏み出すことのできる女性を育成する。

聖徳大学短期大学部では、こうした教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

【学修成果】

- 1. 一流の文化・芸術がもつ普遍性と固有性を感受し、グローバルで多様な価値を受け止めることができる。
- 2. 思いやりと慎みの心をもって相手の立場に立ち、集団の中で自立した行動をとることができる。
- 3. 自己や事象を客観的かつ論理的に考察することができ、自己の生き方をデザインすることができる。
- 4. 個別学問領域を超えたアイディアや洞察力を活かし、自己の確立を図ることができる。
- 5. 専門分野に関する知識・技能を体系的に学び、理論と実践を結びつけて主体的に課題を 解決することができる。
- 6. 専門領域に関わる理論と知識と技能を結びつけて、グローバルかつローカルな視点をも

って、多様な実際的かつ実践的な問題や課題に主体的に、かつ協働して取り組むことができる。

聖徳大学短期大学部では、以上の学修成果を達成するために編成された教育課程において 所定の単位を修得した人に、卒業を認定し、短期大学士の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

聖徳大学短期大学部では、学修成果を体系的に達成するために、全学共通科目と専門教育 科目の教育課程を以下の方針に基づいて編成しています。

【教育課程編成の方針】

I 全学共通科目

全学共通科目は、「聖徳教育科目」、「教養科目」、「外国語科目」等から構成しています。

「聖徳教育科目」は「小笠原流礼法基礎講座」と「聖徳教育」から編成し、聖徳学園の 建学の精神「和」に基づいた本学独自の人間教育を目的とし、確かな人間性を育成します。

「教養科目」は、文化、社会、自然、身体・精神などに関わるグローバルかつ複合的な 諸現象や多様な問題状況に向き合い、個別学問領域を超えたアイディアや学際的かつ多面 的な洞察力と学術を総合した問題解決力を育成します。

「外国語科目」等は外国語および的確な情報によるコミュニケーション・スキルを育成 し、グローバル社会に対応できるコミュニケーション能力を育成します。

Ⅱ 専門教育科目

学科の教育目的を達成するために専門性の高い実践力を育成する教育課程を編成しています。その編成は次の基本方針に基づいています。

- 1. 学科の専門性を習得するために不可欠な学術的な基礎力を育成します。
- 2. 現代的課題に対応した専門的理論と知識を学び、問題・課題解決のための基礎力を育成します。
- 3. 充実した演習・実習科目を設定し、実際場面における問題・課題解決を通して実践力を育成します。
- 4. 専門職業人として自立し、優れた感性と表現力、柔軟な思考力と行動力を備え、卒業後の現場で生きる専門性の高い資質・能力を育成します。

【教育課程実施の方針】

全学科において、全学共通科目と専門教育科目の学修成果を効果的に達成するために、授業計画(シラバス)を作成して以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学習過程を展開しています。

- 1.「到達目標」、「学修成果」、「評価の要点」を明示し、実施しています。
- 2. 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び他の授業科目との関連を明示しています。
- 3. 授業方法として能動的な学び(アクティブ・ラーニング)を導入し、深い学びを促進しています。

4. 毎時間の「身につく資質・能力」と「予習・復習」時間を明記し、その実施を促進しています。

入学者受け入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

聖徳大学短期大学部は、総合大学という特質を活かして、変化の激しい社会を生き抜いていくための確かな人間性、どのような社会であっても不可欠な自己分析力、論理的思考力、自己管理能力、個別学問領域を超えたアイディアや洞察力と多面的な問題発見・解決力、そしてそれらを発揮して主体的にかつ協働して課題に取り組める、社会で発揮できる聖徳ならではの専門性の高い実践力をもつ人の育成を目指しています。

聖徳大学短期大学部はこうした目的を理解し、それを達成できる資質をもった人を求めています。 具体的には、次のような人を求めています。

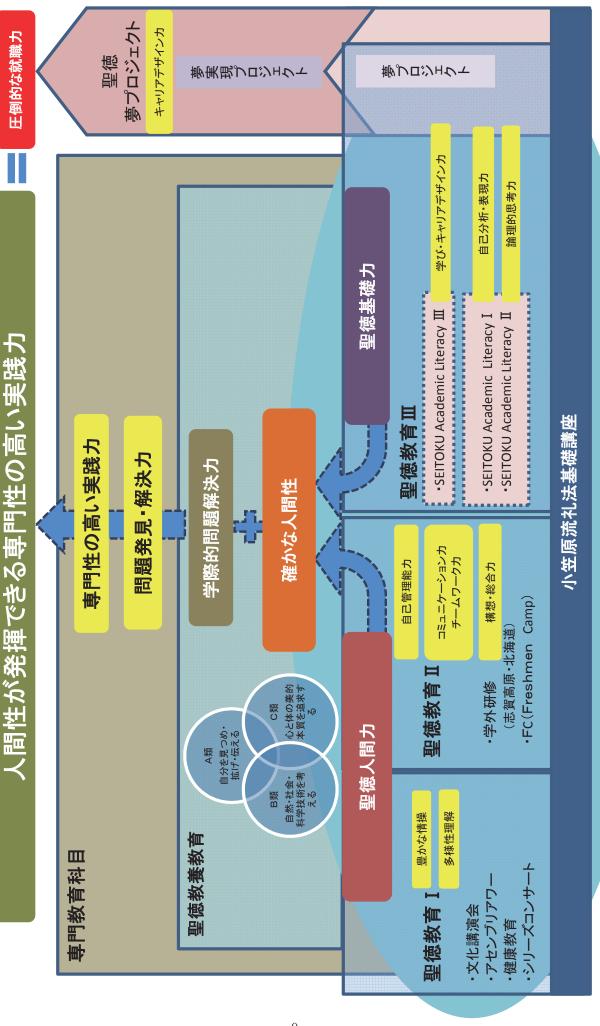
- 1. 学びを通して、自己の成長を実現したいという強い意欲をもっている人。
- 2. 学びを通して、社会に貢献する夢をもっている人。
- 3. 学内外で必要なコミュニケーション力などの基礎を備えている人。
- 4. 授業に主体的、創造的、協働的に取り組むことができる人。

聖徳大学短期大学部ではこのような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意しさまざまな入学試験を行っています。こうした試験においては、各学科での学習に必要な技能、知識、基礎的な学力、主体的な判断力、創造的な考えを表現できる力、仲間と協働して学びを作っていく力などについて、書類審査(調査書、推薦書など)、実技試験、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に評価します。

_	8	_
---	---	---

聖徳大学短期大学部の教育プログラムと学びで得られる成果 (Student Learning Outcomes)

圧倒的な就職力



聖徳教育=建学の精神「和」に基づく人間教育

	11	
_		_

全学共通科目(A類)

- ① 短期大学部 全学共通科目(A類)の教育課程は別表1、2、3、4のとおりです。
- ② 全学共通科目(A類)の最低卒業所要単位数の内訳は、下表のとおりとします。

	全学共通科目 (A類)												
学科	聖徳教育	教養科目 と外国語	健康教育	情報活用	計								
保育	保育 6 6 2 1 15												
総合文化	総合文化 6 8 2 1 17												

③ 全学共通科目(A類)の履修については、各学科・コース・ブランチの履修要項に記載の全学共通 科目(A類)別表に基づき履修してください。

聖徳教育、教養科目、外国語科目

別表1

产	hm.4	<u> ЛП</u>	4	以後行口、70凹m行口	授		太			l/br	F ÷	vL.		<i>川</i> (1)
	A		<u>+</u>	ال علا تعا	業	単	卒業	<u> </u>		修				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	区分	7	ック	授業科目	の方	位	必		1		71.		3	備考
_			欄	I fals you had I to his while with wha	法		修	春	秋		秋	春	秋	ale Notice 2 2 . a set Notice a 1999 and
	1	밑		小笠原流礼法基礎講座		2	0		_	•	•			春学期または秋学期に開講
	行	恵	닏	聖徳教育I		1	0	0	0	0	0			
	孝	銰	\Box	聖徳教育Ⅱ		1	0	0		0				
	1	筝	Ц	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I)		1	0	0						
			Щ	聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy II)		1	0		0					
			Щ	1 34 C 3		2			0	0	0			
		Α		自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2			0	0	0			
		類		自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2			0	0	0			
		,,,		自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I)		2			0	0	0			
				自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	演	1		0	0	0	0			
全				自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2			0	0	0			
学		В		自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2			0	0	0			
子	教	類		自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2			0	0	0			
共				自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2			0	0	0			
^`				心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2			0	0	0]
通	養	С		心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2			0	0	0			
		類				2			0	0	0			1
科	科			心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2			0	0	0]
┃	''			日本国憲法		2	\Diamond			•	•			春学期または秋学期に開講
"				社会貢献の理論と実践	演	1	0	*		*				1
_	目			地域貢献活動の実践	演	1	0		*		*			
				< Business Field Linkage >										
A		D		特別講義 I		2			0					企業系就職希望者は、
類		類				2			O					Business Field Linkage
***				特別講義Ⅲ		1				0				科目を履修することが
_				特別講義IV		2				O				望ましい
				特別講義V		2				_	0			1
				特別講義VI		1								1
					演	1	0	0						1
			_	英語 I ~2	演	1	Ō	Ť	0					1
	9	ή.		フランス語 I ~1	演	1			Ť					1
		Ī			演	1								1
	F	吾 科	〒		演	1								1
	T E	tr ∃	Ħ	中国語 I ~2	演	1								1
	'	-	Ħ	英語Ⅱ~1	演	1	*			0				1
			片	英語Ⅱ~2	演	1	*				0			1
				計	124	51	-							
				p i	1	OI	1		1			1	ı	I

^{*}小笠原流礼法基礎講座:在学中に小笠原流礼法基礎講座2単位が全学生に必修として開講されます。

^{*「}社会貢献の理論と実践」については総合文化学科は1年次春学期、保育科は2年次春学期に実施します。

^{*「}地域貢献活動の実践」については総合文化学科は1年次秋学期、保育科は2年次秋学期に実施します。

[◇]保育科第一部・第二部の学生は必修。

[★]総合文化学科の学生は必修。

健康教育科目

別表2

	/*4 * 42 * 1 4 1 1 1 1 1										
チェ		授業	崩	卒		Æ	夏 修	年》	欠		
ッ	授 業 科 目	の		業必	1]	2	2	3	3	備考
横		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋	
	基礎専門体育I	*	1		0						
	基礎専門体育Ⅱ	*	1			0					
	スポーツと健康 Ι	*	1		0						
	スポーツと健康Ⅱ	*	1			0					
	計		4								

【授業の方法】無印:講義。※印は講義及び実技科目をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

【受講区分】保育科第一部、第二部は基礎専門体育Ⅰ・Ⅱ必修。

総合文化学科はスポーツと健康 I・II 必修。

情報活用科目

別表3

チェ		授 業	崩	卒		尾	夏 修	年光	ķ														
ッ	授 業 科 目	の	美心		1		2		2		2		2		2		3		2 3		2 3		備考
欄		方法	位	修	春	秋	春	秋	春	秋													
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	0																		
	情報活用演習(教職)	演	1			0																	
	—————————————————————————————————————		2																				

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

- 注 1) 教育職員免許状を取得しようとする者は、(基礎)と(教職)必修。
 - 2) 情報活用科目を2単位以上修得した場合、1単位のみは教養科目の単位に含めることができる。

帰国子女科目

別表4

チェ		授業	単	ļ	賀 修	年	欠	
ッ	授 業 科 目	の			1	2	2	備考
ク 欄		方法	位	春	秋	春	秋	
	日本語 I ~1	演	1	0				
	日本語 I ~2	演	1		0			
	日本語Ⅱ~1	演	1			0		
	日本語Ⅱ~2	演	1				0	
	日本語Ⅲ~1	演	1					
	日本語Ⅲ~2	演	1					
	日本の社会と歴史 I		2					
	日本の社会と歴史Ⅱ		2					
	計		10					

【授業の方法】演:演習、無印:講義をさす。

【履修年次】履修年次欄の〇印は開講時期をさす。

(注)帰国子女科目は、教養科目又は外国語の単位に替えることができる。



保育科 第一部 第二部

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

聖徳大学短期大学部保育科は、理論と技術を兼ね備え、実践力に優れた多くの保育者を 社会に輩出してきました。現代社会においては、個人・社会の価値観の多様化が進み、子 どもを取り巻く環境も大きく変化し、保育現場では、これまで以上に質の高い教育・保育 と、地域の課題解決に積極的に取り組める人材が求められています。

保育科では、現代社会の問題・課題にも対応できるよう、社会人として、保育者として、 礼節、豊かな人間性、高度な専門的知識・技能を身につけ、子どもの教育・保育に関わる 専門家としての情熱や使命感をもった保育者「次代をつくる"保育のエキスパート"」を養 成します。

【教育目標】

保育科は、上記の教育方針に基づいて、以下の三つの教育目標を掲げます。

- 1. 礼節と思いやりの心、豊かな人間性、保育者としての使命感や責任感を育成する。
- 2. 保育実践に必要な論理的思考力、判断力、表現力、他者と連携・協働する力等、理論と実践力を育成する。
- 3. 子育ての支援を通じて、地域に貢献できる力を育成する。

【学修成果】

保育科では、上記の教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

- 1. 他者を尊重し、保育に関わる人たちと良好な人間関係を構築することができる。
- 2. 保育者の職務内容を理解し、使命感、責任感をもって保育に取り組むことができる。
- 3. 子どもの遊びや生活、発達について理解し、さらに、保育者に求められる表現・技能 等を修得して、一人ひとりの子どもに適切な援助をすることができる。
- 4. 子どもの発達や実態を踏まえて指導案を作成、実践し、その振り返りと改善ができる。
- 5. 他者と協働して地域の保育課題に取り組み、提案、発信ができる。

保育科では、以上の学修成果を達成するために編成された教育課程において所定の単位 を修得した人に、卒業を認定し、短期大学士(保育)の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程編成の方針】

保育科では、学修成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目(全学共通科目)と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら専門性の高い実践力を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

1. 子どもを理解する力を育成する科目群を設定し、教育・保育・心理・福祉・保健等の学修を通じて、子どもを広く理解し、その成長発達について考察する力を育成する。

- 2. 表現技能を育成する科目群を設定し、感性を磨き、豊かに表現する力を高め、保育実践力を育成する。
- 3. 保育を創造する力を育成する科目群を設定し、保育の内容への理解を深め、指導力を育成する。
- 4. 保育現場で学ぶ科目群を設定し、実習指導や実習を通じて、子どもを真に理解しようとする姿勢と保育実践力、対人関係能力を育成する。
- 5. 地域で学ぶ科目群を設定し、フィールドワーク等を通じて、保育者として地域の保育 課題に取り組む姿勢を育成する。

【教育課程実施の方針】

保育科では、学修成果を効果的に達成するために、以下の教育課程実施の方針を示し、 学生が自らの長所を発見し伸長できる学修を展開しています。

- 1. 実習指導、地域で学ぶ科目等において自己評価を導入し、学生が自らの達成度を確認し、それを教員と共有し、以後の学修に活かすことにより、学修効果を高める。
- 2. 地域で学ぶ科目群においては、地域社会におけるフィールドワークを実施し、学生が主体的・体験的に学修することにより、実践的な学びを促進する。

入学者受け入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

保育科では、豊かな人間性を備えた保育者、理論と実践力を備えた保育者、地域に貢献できる保育者を養成することを教育目標として掲げ、教育目標の達成のために、充実した教育課程を編成しています。保育科の教育目標を理解し、カリキュラムの学習に積極的に臨む人を、受け入れます。

具体的には、次のような知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力や、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度、明確な目標をもつ人を求めています。

- 1. 教育、保育、福祉に関心をもち、保育者になる意欲がある。
- 2. 子どもや子どもを取り巻く環境に関心をもち、自分の考えを述べることができる。
- 3. 文章を理解し、考え、それをまとめる力を身につけている。
- 4. 身体表現、造形表現、音楽表現等の活動を積極的に楽しむことができる。
- 5. グループ学習、課外活動やボランティア活動等で、仲間と協働して学習ができる。

このような受験生を受け入れるために、多様な受験機会をもち、入学試験では、個別面接、書類審査(調査書、推薦書など)、学力試験などを組み合わせて総合的に評価します。

_	17	_

保育科第一部 履修要項

(1)保育科第一部の卒業所用単位数は、次表のとおりです。 幼稚園教諭二種免許又は、保育士資格のいずれかの取得が必修となります。

		<u></u>	全学共通科	4目(A類)		専門教	教育科目(B類)	計
取得免許•資格	聖徳 教育	教養科目と 外国語	健康 教育	情報活用	計	必修 科目	選択 科目	計	(単位)
幼稚園教諭二種	6	6	2	2	16	54	_	54	70
保育士	6	6	2	1	15	68	_	68	83
両方取得	6	6	2	2	16	86	_	86	102

- (2)全学共通科目(A類)については、別表5-1のとおり履修すること。
- (3)教養科目と外国語科目6単位には、外国語2単位を含んでいること。

(教養科目と日本国憲法及び地域貢献科目の計4単位、外国語は英語2単位を履修すること。さらに、幼稚園教諭二種免許状を 選択する場合は、情報活用演習(教職)が必修です。)

- (4)専門教育科目は、別表5-2の「幼稚園」欄の○の科目もしくは「保育士」欄の○の科目全てと、△▲印の科目が選択必修です。
- (5)幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、別表5-2の「幼稚園」欄の○印の科目が必修です。
- (6)保育士資格を取得しようとする者は、別表5-2の「保育士」欄の○印の科目が必修です。
- (7)保育士資格を取得しようとする者は、「保育実習Ⅱ(保育所)及び保育実習指導指導Ⅱ(保育所)」又は「保育実習Ⅲ(施設)及び保育実習指導Ⅲ(施設)」のいずれか2科目3単位を履修すること。
- (8) 准学校心理士、図書館司書、秘書士を取得しようとする者は、後掲の別表7「准学校心理士」、別表8「図書館司書」、別表9「秘書士」 科目を修得すること。なお、「図書館司書」、「秘書士」の科目は、上記の卒業所要単位数には含まれません。
- (9) 履修期に○印を付されたとおり履修すること。●印は時間割編成の関係上春学期もしくは秋学期に開講するので時間割指定のとおり履修すること。
- (10)授業の方法欄の「演」印は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示します。

全学共通科目(A類) 別表5-1

	大週件日(A短	チ		授	単	卒	Į.	夏修	年と	<u></u> た	別夜5−1
	区分	ェッ	授業科目	業の	位	業必		1		2	備 考
		ク欄		方法	数	修	春	秋	春	秋	
			小笠原流礼法基礎講座		2	0			0		
			聖徳教育I		1	0	0	0	0	0	
	聖徳教育		聖徳教育Ⅱ		1	0	0		0		
			聖徳教育皿(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	0	0				
			聖徳教育III(SEITOKU Academic Literacy II)	演	1	0		0			
			自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2			0	0	0	
			自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2			0	0	0	
	A類		自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2			0	0	0	
			自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I)		2			0	0	0	
			自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	演	1		0	0	0	0	
			自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2			0	0	0	
	B類		自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2			0	0	0	
			自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2			0	0	0	
		_	自然・社会・科学技術を考える(環境領域) 心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2			0	0	0	
			心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2			0	0	0	
	C類		心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2			0	0	0	
教			心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2			0	0	0	
養		1 -	日本国憲法		2	0				Ō	
			社会貢献の理論と実践	演	1	0			0		
			地域貢献活動の実践	演	1	0				0	
			< Business Field Linkage >								
			特別講義 I		2			0			企業系就職希望者は、
	D類		特別講義Ⅱ		2			0			Business Field Linkage科目を
		-	特別講義Ⅲ		1				0		履修することが望ましい
		-	特別講義IV		2				0		
			特別講義V		2					0	
			特別講義VI		1						
			英語 I ~1	演	1	0	0				
			英語 I ~2	演	1	0		0			
	外国語	-	英語Ⅱ~1	演	1	_		ō			
			英語Ⅱ~2	演	1				0		
	and reducibel —t—		基礎専門体育I	*	1	0	0				
	健康教育	-	基礎専門体育Ⅱ	*	1	0		0			
	lab en ort oo		情報活用演習(基礎)	演	1	0	0				
	情報活用		情報活用演習(教職)	演	1			0			幼稚園教論二種免許状取得希望者は必修
			計			15					

保育科第一部 専門教育科目(B類) 別表5-2

M I		书第一即 导门教育科目(K /						交り-		
	チェ		授業	単	幼	保			履修	多期		
	ェッ	授業科目	兼の	•	稚	育	両		1		2	備考
1	ク		方	位	園	±	方	春	_			NIM A
-	#		法	_				_				
1		音楽I	演	4	0	0	0	0	0	0	0	
		音楽Ⅱ~1	演	1	0	0	0	0				
		音楽Ⅱ~2	演	1	0	0	0		0			
		図画工作 I	演	1	0	0	0	0				
		図画工作Ⅱ	演	1	Ö	Ö	0	ľ	0			
		体育 I	演	1	0	0	0			0		
										U	_	
		体育Ⅱ	演	1	0	0	0				0	
		国語		2	0		0	0				
		生活		2								
	П	児童文化 I ~1	演	1	0	0	0	0				△印の科目のうち、1科目は必修。
		児童文化 I ~2	演	1	Δ	Δ	Δ				0	(全て履修することが望ましい。)
		児童文化Ⅱ~1	演	1	0	0	10	0				
		児童文化Ⅱ~2	演	1	\triangle	Δ	Δ				0	
	Ш	児童文化Ⅲ~1	演	1	0	0	0			0		
1		児童文化Ⅲ~2	演	1	Δ	Δ	Δ				0	
		保育原理I		2	0	0	0	0				
1		教育原理		2	0	0	0					
車		子ども家庭福祉		2		Ō	0	Ō				
4		社会福祉		2		Ö	0	Ť			0	
		子ども家庭支援論		2		0	0				0	
	ዙ										U	
	냳	社会的養護 I		2	<u> </u>	0	0	_	0			
		教職入門		2	0	0	0					
BP		発達心理学		2	0	0	0	0				
門		特別支援の基礎		2	0		0			0		
		子ども家庭支援の心理学		2		0	0			0		
		子どもの理解と援助	演	1		Ō	0		0			
	Ħ	子どもの保健	125	2	0	Ö	0	0				
	H	子どもの食と栄養	演	2		0	0				0	
	牌		便			U						
教		教育制度論		2	0		0			•	•	
	Ш	教育方法論		2	0		0			•		
		幼児理解・保育相談		2	0		0			0		
		教育課程論		2	0		0			0		
		保育課程論		2		0	0		0			
		保育内容総論	演	1	0	0	0		0			
育		保育内容・健康	演	1	Ö	Ö	0			•	•	─ 健康が春の場合は環境は秋
	H	保育内容・人間関係	演	1	ō	Ö	0			•	•	Letata 1 - 7 m E 100 pk 9 E1 00 pk
	H	保育内容・環境	演	1	ŏ	0	0			•	_	
											•	- 1問題はぶまの組入は一帯はむ
		保育内容・言葉	演	1	0	0	0			•	•	―― 人間関係が春の場合は言葉は秋
		保育内容·音楽表現 I	演	1	0	0	0			0	_	
科		保育内容・音楽表現Ⅱ	演	1	0	0	0				0	
		保育内容•造形表現	演	1	0	0	0				0	
		乳児保育I	l	2	L	0	0		0			
		乳児保育Ⅱ	演	1		0	0			0		
		子どもの健康と安全	演	1		Ö	0		0			
	H	障害児保育	演	2		Ö	0		Ö			
目	H	社会的養護Ⅱ	演	1		0	0			0		
			1戌				0					
		教育相談	ملين	1	0			0				
		子育て支援	演	1	<u> </u>	0	0	_			0	
		教職実践演習(幼稚園)	演	2	0	0	0				0	
		幼児教育実習指導(事前・事後指導)	実	1	0		0	0	0	0	0	
		幼児教育実習 I (附属幼稚園実習)	実	2	0		0		0			
1		幼児教育実習 II (指定幼稚園実習)	実	2	0		0				0	
1	Ħ	保育実習指導I	演	2		0	Ŏ		0	0		
1		保育実習 I (保育所)	実	2		Ö	0		Ĭ	0		
		保育実習 I (施設)	実	2		0	0	-		0		
1)
1		保育実習指導Ⅱ(保育所)	演	1		Δ	Δ			0	0	保育士資格を取得しようとする者は、「保育実習Ⅱ
1		保育実習Ⅱ(保育所)	実	2		Δ	Δ			_	0	【 (保育所)及び保育実習指導Ⅱ(保育所)」又は「保
1		保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1		A	A			0	0	「 育実習Ⅲ(施設)及び保育実習指導Ⅲ(施設)」のい
1		保育実習Ⅲ(施設)	実	2		A					0	ずれか2科目3単位を選択履修すること。
		卒業研究	演	2								
1		キャリア総合演習 I	演	1	0	0	0	0				
		キャリア総合演習Ⅱ	演	1	Ŏ	Ö	Ō		0			
	片	保育表現法I	演	1	١Ť				Ĭ			
1	<u>ш</u>	単 位 計	154		54	68	86					
		124 01			. <i></i> I							

保育科第二部 履修要項

(1)保育科第二部の卒業所用単位数は次表のとおりです。 幼稚園教諭二種免許又は、保育士資格のいずれかの取得が必修となります。

		全学类	共通科目	(A類)		専門	教育科目((B類)	計
取得免許·資格	聖徳 教育	教養科目 と外国語	健康 教育	情報 活用	計	必修 科目	選択科目	計	(単位)
幼稚園教諭二種	6	6	2	2	16	56		56	72
保育士	6	6	2	1	15	70	_	70	85
両方取得	6	6	2	2	16	88	_	88	104

- (2)全学共通科目(A類)については、別表6-1のとおり履修すること。
- (3)教養科目と外国語科目6単位には、外国語2単位を含んでいること。

(教養科目と日本国憲法及び地域貢献科目の計4単位、外国語は英語2単位を履修すること。さらに、幼稚園教諭二種免許は選択する場合は、情報活用演習(教職)が必修です。)

- (4) 専門教育科目は、別表6-2の「幼稚園」欄の○の科目もしくは「保育士」欄の○の科目全てと、 △▲印の科目が選択必修です。
- (5)幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、別表6-2の「幼稚園」欄の○印の科目が必修です。
- (6)保育士資格を取得しようとする者は、別表6-2の「保育士」欄の○印の科目が必修です。
- (7)保育士資格を取得しようとする者は、「保育実習Ⅱ(保育所)及び保育実習指導指導Ⅱ(保育所)」又は「保育実習Ⅲ(施設)及び保育実習指導Ⅲ(施設)」のいずれか2科目3単位を履修すること。
- (8) 准学校心理士を取得しようとする者は、後掲の別表7「准学校心理士」科目を修得すること。
- (9) 履修期に○印を付されたとおり履修すること。●印は時間割編成の関係上春学期もしくは秋学期に開講するので時間割指定のとおり履修すること。
- (10)授業の方法欄の「演」印は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示します。

全学共通科目(A類) 別表6-1

	チ		460							_		737,500
<u> </u>	アェ		授業	単	卒業		和	修	年	次		
区 分	ッ	授 業 科 目	の	単位	兼		1	:	2		3	備考
7/	ク 欄		方法	数	必修	春	秋	春	秋	春	秋	
		小笠原流礼法基礎講座		2	0						0	
		聖徳教育I		1	0	0	0	0	0	0	0	
聖徳教育		聖徳教育Ⅱ		1	0	0				0		
		聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	0	0						
		聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy II)	演	1	0		0					
		日本国憲法		2	0						0	
教養		社会貢献の理論と実践	演	1	0			0				
		地域貢献活動の実践	演	1	0				0			
		英語 I ~1	演	1	0	0						
外国語		英語 I ~2	演	1	0		0					
		英語Ⅱ~1	演	1				0				
		英語Ⅱ~2	演	1					0			
健康教育		基礎専門体育I	*	1	0	0						
MEAN EX FI		基礎専門体育Ⅱ	*	1	0		0					
情報活用		情報活用演習(基礎)	演	1	0	0						
IFI #K1ロ/13		情報活用演習(教職)	演	1			0					幼稚園教論二種免許状取得希望者は必修
		計			15						_	

保育科第二部 専門教育科目(B類)

別表6-2

チ	⋅第一部 - 専門教育科日(B <u>}</u> 	授	単	幼稚	保				履修	多期			
エック	授 業 科 目	業の方	, ·	園	育士	両方		1	- 4	2		3	備考
		法	位	教論	士	,,	春	秋	春	秋	春	秋	
	音楽I	演	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	音楽Ⅱ~1	演	1	0	0	0	0						
	音楽Ⅱ~2	演	1	0	0	0		0					
	図画工作 I	演	1	0	0	0		0					
	図画工作Ⅱ	演	1	0	0	0			0				
	体育I	演	1	0	0	0			0				
	体育Ⅱ	演	1	0	0	0				0			
	国語		2	0		0	0						
	生活		2										
	児童文化 I	演	1	0	0	0	0						
l	児童文化Ⅱ	演	1	0	0	0		0					
	児童文化Ⅲ~1	演	1	0	0	0			0				
	児童文化Ⅲ~2	演	1							0			児童文化Ⅲ~2は履修することが望ましい。
	保育原理I		2	0	0	0	0						
	教育原理		2	0	0	0		0					
	子ども家庭福祉		2		0	0			0				
	社会福祉		2		0	0						0	
	子ども家庭支援論		2		0	0					0		
	社会的養護 I		2		0	0				0			
	教職入門		2	0	0	0	0						
	発達心理学		2	0	0	0	0						
	特別支援の基礎		2	0		0					0		
	子ども家庭支援の心理学		2		0	0			0				
	子どもの理解と援助	演	1		0	0		0					
	子どもの保健		2	0	0	0		0					
	子どもの食と栄養	演	2		0	0						0	
	教育制度論		2	0		0						0	
_	教育方法論		2	0		0						0	
ᅵᆜ	幼児理解・保育相談		2	0		0			0				
	教育課程論		2	0	_	0		_	0				
ᅵᆜ	保育課程論		2	_	0	0		0					
ᅵᆜ	保育内容総論	演	1	0	0	0			0				
	保育内容・健康	演	1	0	0	0					0		
	保育内容•人間関係	演	1	0	0	0				0	_		
	保育内容•環境	演		0	0	0					0		
	保育内容・言葉	演	1	0	0	0			_	0			
	保育内容·音楽表現I	演	1	0	0	0			0		_		1
	保育内容・音楽表現Ⅱ	演	1	0	0	0					0	_	
뭐	保育内容・造形表現	演	1	0	0	0	_					0	
닏	乳児保育 I		2		0	0				0	_		
	乳児保育Ⅱ	演	1		0	0					0		
	子どもの健康と安全	演	1		0	0				0			
	障害児保育	演	2		0	0				0			
	社会的養護Ⅱ	演	1		0	0			<u> </u>		0		
ᆜ	教育相談	w.	1	0	_	0			0				
ᆜ	子育て支援	演	1	_	0	0						0	
ᅵ무	教職実践演習(幼稚園)	演	2	0	0	0	_				_	0	
무	グループ研究	演	2	0	0	0	Ļ		<u> </u>		0	0	
	幼児教育実習指導(事前・事後指導)	実	1	0		0	0	0	0	0			
	幼児教育実習 I (附属幼稚園実習)	実	2	0		0		0					1
ᅵ片	幼児教育実習Ⅱ(指定幼稚園実習)	実	2	0	_	0				0			
	保育実習指導I	演	2		0	0				0	0		1
무	保育実習 I (保育所)	実	2		0	0					0		
닏	保育実習 I (施設)	実	2		0	0					0	_	
ᅵ 뭐	保育実習指導 II (保育所)	演	1		Δ	Δ					0	0	↓ 保育士資格を取得しようとする者は、「保育実 習Ⅱ (保育所)及び保育実習指導Ⅱ (保育所)」
ᅵ뭐	保育実習Ⅱ(保育所)	実	2		Δ	Δ					_	0	
ᅵ뭐	保育実習指導Ⅲ(施設)	演	1		A	<u> </u>					0	0	(施設)」のいずれか2科目3単位を選択履修す
ᅵᄖ	保育実習皿(施設)	実	2	_	<u> </u>	<u> </u>	Ļ					0	り ること。
	キャリア総合演習	演	1	0	0	0	0						
	単位計		94	56	70	88							



実習をコアにしたキャリア形成カリキュラムマップ

保育科第一部

聖徳大学短期大学部

令和3年度入学生

子どもの世界に ふみこもう

保育者への扉を開こう

感性豊かな保育者に

	保育実習 1 (保育所幼児教育実習指導の児教育実習指導幼児教育実習指導幼児教育実習 1	地域貢献活動の実践	教職実践演習(幼稚園)	保育内容・環境(春朔時は松・朔)	保育內容•言葉 (春灣時記物學期)	保育内容·音楽表現 II 保育内容· <i>造形表</i> 現	音楽 I	体育Ⅱ	つ~1 小公里回 「物心中語」	【選択必修】児童文化Ⅰ~2	- 一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一	(母がが)多」が黒人に血・2	子どもの食と栄養	子育て支援		社会福祉	1111111111111111111111111111111111111	数音方法論 (秦灣田江地灣町)							聖徳教育 I		日本田憲法		2年次秋学期	保育者として必要な 資質・能力を修得する
Q	保育実習指導味育実習」(保育所)保育実習」(保育所)保育実習四(施設)	社会貢献の理論と実践		保育内容・健康(春朔時記物等期	保育內容•人間関係 養親抵法數期	保育内容•音楽表現 I	音楽 I	体育 [旧華女化用~1	が軍人に出てし	乳児保育工	子ども家庭支援の心理学	特別支援の基礎	対象を翻開	幼児理解・保育相談	教育制度論 (東端 居尼湖灣町	教育課程論						聖徳教育 I	聖徳教育工	〔選択〕英語Ⅱ~2	小笠原流礼法基礎精壓	2年次春学期	基礎的な保育実践力を修得する
	(附屬幼稚園) 谷民教育実習 I 不管理學	キャリア総合演習Ⅱ				保育内容総論	音樂I	5≪Ⅱ≪豊			図画 工作 工		乳児保育 I	子どもの理解と援助	障害児保育	社会的標識	子どもの健康と安全	数職入PPI (東端田江地域部)	保育課程論	基礎専門体育工	情報活用實習(教職)	SEITOKU Academic Literacy II			聖徳教育 I		(選択) 英語 II ~ 1	英語 I ~2	1年次秋学期	保育実践を理解する
	門屬幼稚園見学実習的情報。						音樂 I	音楽Ⅱ~1	日部分11~1	元重文化 I ~ I 児童文化 II ~ I	1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			発達心理学	子どもの保健	イブも家庭福祉	教育相談	数音原理 (素質用近過差距	保育原理]	基礎専門体育 I	情報活用實習(基礎)	eracy I			聖徳教育 I	聖徳教育工		英語 I ~1	1年次春学期	保育職への高欲を向上させる 勉学への姿勢を確立する
	保育現場で学ぶ	地域で学ぶ		1 1 1 1	年間を副迫りる			# # # #		身につける						トブ 七 が 世 解 中 が					**************************************	子での神像の	場にしける				く回口を言う			

学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

保育科第一部

聖徳大学短期大学部

令和3年度入学生

	が行る でである を を を を を を を を を を の の の の の の の の の	会 構築する で が で は に に に に に に に に に に に に に	高級で の の の の の の の の の の の の の	4 4 4 4 4 6 7 7 6 6 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	いた。 ない。 ない。 ない。 でい、 でいった。 にいるのよがも に適切な 凝思	を を を を を を の の の の の の の の の の の の の	巻 と が は の の の の で で 画 の の で で の の で で の で で の の で で の で の の で の の の の の の の の の の の の の		
	(選択)	実習やフィールドワークの広果を踏まえつろ、地域 貢献活動に必要な実践的技能・態度を身につけている。 GPA	:実習やフィールドワーケの成果を踏まえつつ、保育 を構想、展開、省察するために必要な実践的技能・態度を身につけている。 GPA	実習やフィールドワークの成果を踏まえつつ、保育者としてふさわしい表現技能について、理論と実践を結び付て考察することができる。 GPA	実習やフィールドワーケの成果を踏まえつつ、子どもの成長発達について、理論と実践を結び付けて考察することができる。 GPA		801/14 × 301.	の任労利学問	ムーイベンシンの 保育者として必要な 資質・能力を修得する
(目的)	保育実習 1 (施設) 保育実習 1 (保育所 1までの実習の成果をごれまでの実習の成身 まえつう、施設に近れば 踏まえつ。保育所の まえつう、施設における 1 をがし	フィールドワーケで子育て支援活動ができるように をなるために、子育て支援活動における課題解決 能力を身につけている。 GPA	・保育を創造するために、子ども一人ひとりに応じた 適切な援助方法を身につけ、実習を通して深め ることができる。 GPA	を表現技能に関する知識・技能を実習を通して深めることができる。 GPA	・実習を通して子ども一人ひとりの実態を的確にと らえ、子どもを広く深く理解することができる。 GPA		FC、学外研修 I の成果を踏まえつ、学外研修 II での集団生活を通して、宿泊や食事等の社会 II での集団生活を通して、宿泊や食事等の社会 A L 化立度 A L できる。 お	った次奏学問	ムー・イン・ロール エー・イン・ロール 基礎的な保育実践力を修得する
子でもの世界にあることのである。	幼児教育実習 I 附属幼稚園 見学実習での成果を踏まえつつ、幼ご 児期の特性、教師の援助、幼稚園の生活等に、踏 つい、理算の実際を体験することを通して、竟欲的 乾 に学ぶことができる。	フィールドワークで子育て支援活動ができるように なるために、コミュニケーションできる基礎的能力を 身につけている。 GPA	保育内容を創造することへの関心・意欲を持つことができる。 GPA	表現技能に関する基礎的な知識・技能を実習通して生かすことができる。 GPA	身につけた知識を活用しながら、実習を通して子どもを広く理解することができる。 GBを広く理解することができる。 GPA	身につけた身体表現を実習で生かし、深めることができる。 身につけさLCT活用能力を実習を通して深めることができる。 Cができる。 GPA		1 年次教学期	
保育者への扉を開こう				表現技能に関する基礎的な知識・技能を身につけている。 GPA	子どもを理解するために必要な知識を身につけて いる。 GPA	保育者として必要な身体表現の基礎を身につけている。 代いる。 保育者として必要なICT活用能力の基礎を身に フけている。 保育者として必要な国語表現力の基礎を身につ けている。	建学の精神 和1.を理解 FCでの成果を踏まえつし、他者に対して「利」フ、集団生活の中で、前1をもつて行動すること 規則正しい団体生活をができる。 通して、自制心を養い、卒業時の自分を見据え、他者に対する思いやりの充実した学生生まれ、表積有ちをつことができる。 おりができる。 これできる。 こ	1 任办寿学	, ナベラナ/版 保育職への選款を向上させる 勉学への姿勢を確立する
	保育現場で学ぶ	地域で学ぶ	保育を創造する	表現技能を見	子どもを 理解する	学びの 基礎を 身につける	人間体をある。		

(選択)	保育実習田(施設)保育表習日(保育所保育実習出(保育所保育実習指導	グループ研究	教職民鎮留(外櫃) 保育內容· 造形表現		正 正 所 正 一 正 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一				子どもの食と栄養	子育て支援	社会福祉	教育方法論	教育制度論						聖徳教育	小笠原流、法基礎構座	日本田憲法	3年次秋学期	質・能力を修得する
	保育実習」(施設)保育実習」(保育所)	グループ研究	保育内容・健康保育内容・環境	保育内容·音楽表現I	音楽 I				乳児保育工	子ども家庭支援論	社会的養護I	特別支援の基礎							聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅱ		3年次春学期	保育者として必要な資質・能力を修得する
	(指示效権國)	地域貢献活動の実践	保育内容•人間関係 保育内容•言葉		豆类 I	体育Ⅱ		(選代) 汽車文化II~2		₹	社会的養護 [障害児保育							聖徳教育		〔選択〕英語 I ~ 2	2年次秋学期	修得する
		社会貢献の理論と実践	保育内容総論	保育内容•音楽表現]	品类 I	体育 I	図画工作工	児重又化皿~1	教育相談	子ども家庭支援の心理学	子ども家庭福祉	幼児理解·保育相談	教育課程論						聖徳教育		(選択) 英語II~1	2年次春学期	基礎的な保育実践力を修得する
	(附属幼稚園)				音樂 I	音楽Ⅱ~2	図画工作Ⅰ日本	児重又化Ⅱ		子どもの理解と援助	子どもの保健	教育原理	保育課程論	基礎専門体育工	情報活用演習(教職)	SHICK JArachici Brack			聖徳教育		英語 I ~2	1年次秋学期	保育実践を理解する
	民学 附属 物 推 関 引 学 表 四 に 学 表 の に が ま の に に の に の に の に の に の に の に の に に に に に に に に に に に に に				品※]	音楽Ⅱ~1	・分字並口	児童又化1			発達心理学	教職入門	保育原理 I	基礎専門体育 I	情報時間(基礎)	SETOAU Academic lieray I	キャリア総合演習	器面	聖徳教育	聖徳教育工	英語 I ~1	1年次春学期	保育職への高欲を 向上させる 勉学への姿勢を 確立する
	保育現場で学ぶ	地域で学ぶ	保育を創造する			表現技能を	身につける				子どもを理解する				11/1/6/世界代	ようの単語の	ずしこう			人間性を高める			

保育科第二部(実習をコアにしたキャリア形成カリキュラムマップ

聖徳大学短期大学部

令和3年度入学生

子どもの世界に ふみこもう

保育者への 扉を開こう

感性豊かな保育者に

自分の力をためしてみよう

	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	大権が、保督を受験を受験を受け、保護などのを受験を含める。 の理 気をを の理 がもない はない はいまい はい	動に対する たなるを を おんまの およれる お子は の を およれる を を は、 と、 は、 と、 は、 と、 は、 と、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	いている でした から から から から から から から から から から から から から	してん、 ころく、 ころう、 ころく で を と の に が が の で の の と の の と の の と の の の と の の の の を の を	子やえ作そとるとませる場合では作るとのなる。 おき、でかなりなりなりなり、 のは、 のなりなりなりなりない。 は、 は、 は、 なるできない。 は、 なるできる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	在 大日本 大日本 大田 で を で で で で で で で で で で で で で	
(Learning Outcomes) 廢性豊かな保育者に	保育実当 1 (施設) (選択) 1 (保育所) 3 Pt までの実習の成果を保育実習 1 (保育所) 3 Pt まえつ、施設におけてれまでの実習の成果を 保育実習 1 (保育所) 5 各別用(造) との関わり踏まえつ、部分実習や顔して、保育、施設の役割と責任実習を通して、保育、有工の機務について 育工の機務について 第年の場所等について 音工の機等について 音工の機等について 音工の場合でした。 1 保育所 1 保育 2 上 で 2 大 2 大 2 大 2 大 2 大 3 上 3 大 3 大 3 大 3 大 4 大 3 大 3 大 4 大 4 大 4 大	実習やフィールドワークの成果を踏 ・ループ単位で協力しながら、ひとつ て主体的に研究を進めるために必 としての探求心と課題解決能力を る。 GPA	実習やフィールドワーク を構想、展開、省察豆能・態度を身につけて		と 実習やフィールドワークの成果を踏まえつつ、子ど もの成長発達について、理論と実践を結び付けて 考察することができる。 GPA		FC、学外研修 1 の成果を踏まえつ、学外研修 I での集団を活動して、有質や食事等の社会 人として必要なマナーを身につけることができる。 北海道の自然や文化などに触れることを通して、自然と人間との関切についての理解を深めることができる。 I を通して、卒業、就職に向けたクラスの連帯感、「食通して、卒業、就職に向けたクラスの連帯感、信頼関係をさらに深めることができる。	3年次書学期 3年次秋学期 保育者として必要な 資質・能力を修得する
育科第二部 学びで得られる成果 (自か力を ためしてみよう	実習 T 実習の成号 、部分は、 のを通して、 がを通して、 につけるだ につけると かることがで かることがで	:35よ7 (20) (20) (20)	保育を創造するために、子ども一人ひとりに応じた 適切な援助方法を身につけ、実習を通して深め ることができる。 GPA	を表現技能に関する知識・技能を実習を通して深めることができる。 GPA	実習を通して子ども一人ひとりの実態を的確に らえ、子どもを広く深く理解することができる。 GPA			2年次春学期 2年次秋学期 基礎的な保育実践力を修得する
学生 聖徳大学短期大学部 保子ともの世界に ふみこもう	が兄教育美習 1 附属幼稚園見学実習での成果を踏まえつつ、幼 附属幼稚園の生活等に こいて理解するとともに、保育活動の一部を担当 し、指導の実際を体験することを通じて、寛欲的 に学ぶことができる。		保育内容を創造することへの関心・意欲を持つこと とができる。 GPA	•技能を実習	を活用しながら、実習を通して子 ることができる。 GPA	身につけた身体表現を実習で生かい、深めることができる。 身につけたICT活用能力を実習を通して深めることができる。 CAできる。		1年次秋学期 保育実践を理解する
令和3年度入 保育者への扉を開こう				表現技能に関する基礎的な知識・技能を身につ、表現技能に関する基礎的な知識 げている。 GPA GPA GPA GPA	子どもを理解するために必要な知識を身につけて いる。 GPA	保育者として必要な身体表現の基礎を身につけ、身に力化・身体でいる。 ている。 かできる。 いないな。 つけている。 保育者として必要な国語表現力の基礎を身につ けている。 GPA	建学の精神 和1を理解FCでの成果を踏まえつし、他者に対して「イ」、「集団生活の中で、前りをもって行動すること、規則正しい団体生活をができる。 通して、自制心を養い、ができる。 第一年 一番 「大きないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	1 年次暦学期 保育職への意欲を向上させる 勉学への姿勢を確立する
	保育現場で学ぶ	出域で学ぶ	保育を創造する	表現技能を見	子どもを理解する	学びの 基礎を 身につける	人間性を高める。	

准学校心理士(保育科第一部、保育科第二部)

別表7

チェ		授業	単	心准	履	修	年	次	
ッ	授 業 科 目	の	位	理学	1	l	2	2	備考
ク 欄		方法	数	士校	春	秋	春	秋	
	発達心理学		2	0	\circ				
	特別支援の基礎		2	0			\bigcirc		
	幼児理解•保育相談		2	0			\circ		

- [注] 1.准学校心理士を取得する者は、上記の科目が必修となります。
 - 2.発達心理学は幼稚園教諭二種免許と保育士資格の卒業必修科目です。特別支援の基礎、幼児理解・保育相談は保育士資格の卒業必修科目です。

図書館司書(保育科第一部)

別表8

チェ		授業	単	司	履	修	年	次	
ッ	授 業 科 目	の	位]	1	4	2	備考
ク 欄		方法	数	書	春	秋	春	秋	
	生涯学習概論		2	0	0				
	図書館概論		2	0	0				
	図書館情報技術論		2	0		0			
	図書館制度・経営論		2	0				0	
	図書館サービス概論		2	0		0			
	情報サービス論		2	0		0			
	児童サービス論		2	0			0		
	情報サービス演習 I	演	1	0			0		
	情報サービス演習Ⅱ	演	1	0				0	
	図書館情報資源概論		2	0	0				
	情報資源組織論		2	0		0			
	情報資源組織演習I	演	1	0			0		
	情報資源組織演習Ⅱ	演	1	0				0	
	図書館基礎特論		2	Δ					△印を付された科目について、
	図書館サービス特論		2	Δ					短期大学部向けに開講される のは図書館情報資源特論と図
	図書館情報資源特論		2	Δ		0			書・図書館史のみである。その
	図書・図書館史		2	Δ				0	他の科目の履修を希望する場 合は、4年制大学向けに開講さ
	図書館施設論		2	Δ					れた科目を担当教員の許可を
	図書館総合演習		1	Δ					得て履修すること。

- [注] 1.図書館司書の資格を取得する者は、司書欄に○印を付された科目全部と、△印を付された科目のうち2科目以上を履修しなければならない。
 - 2.上記の科目の修得単位は、学則に定める卒業所要単位数に含まれません。

秘書士(保育科第一部)

別表9

チェ		授業	単	秘	履	修	年	次			
ッ	授 業 科 目		授 業 科 目		位	書]	1		2	備考
グ		方法	数	士	春	秋	春	秋			
	情報活用演習(基礎)	演	1	0	0						
	社会貢献の理論と実践	演	1	0			0				
	地域貢献活動の実践	演	1	0				0			
	データ整理の方法	演	1	0	\circ						
	暮らしと経済		2	0		0					
	簿記 I		2	0		0					
	日本語プレゼンテーション I	演	1	0	0						
	日本語プレゼンテーションⅡ	演	1	0		0					
	秘書学概論 I		2	0	\circ						
	秘書学概論Ⅱ		2	0		0					
	秘書実務演習I	演	1	0			0				
	秘書実務演習Ⅱ	演	1	0				0			

[[]注] 1.秘書士を取得する者は、上記の科目が必修となります。

^{2.}情報活用演習(基礎)、社会貢献の理論と実践、地域貢献活動の実践は卒業必修科目です。 それ以外の科目の修得単位は、学則に定める卒業所要単位数に含まれません。

総合文化学科

卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

聖徳大学短期大学部総合文化学科は、「専門的知識と技能とを身につけ、広い視野を持って社会に自立できる女性の育成」を教育理念とし、この理念を社会に創造的に活かしながら、常に新しい教育に挑戦し、時代に求められる自立した女性を輩出してきました。

政治・経済・文化のグローバル化、社会の価値観の多様化が急速に進む現代社会は、多くの多面的・複合的な問題に直面しています。そうした中で求められているのは、自ら課題を設定して解決策を示し、多様な他者と協働して新たな価値を創出できる人材を育成することです。

総合文化学科は、フードマネジメント、図書館司書・IT、国際観光・ホテル、ファッション・造形デザインの四つのコースを設け、自己の生き方を考える力や課題解決力をもち、地域社会を漸進的に変えていく実践的な力を有する女性を育成し、調和ある社会の発展に貢献していきます。

【教育目標】

総合文化学科は、教育理念に基づいて以下の四つの教育目標を掲げます。

- 1. 他者を思いやる協調性と豊かな感性、確かな礼節を身につけた"和"の心を育成する。
- 2. 幅広い教養に基づく多様な視点から現代社会における課題に自らアプローチし、解決 する方策を論理的に模索できる思考力と解決力を育成する。
- 3. 自己の生き方を主体的にデザインすることができる自立した女性を育成する。
- 4. 幅広い専門性と学際性を併せもつ体系的な知識・技能を修得し、理論と実践を結びつけて現代社会及び地域社会の課題を解決へと導く高度な実践力を育成する。

【学修成果】

総合文化学科は、教育目標に基づいて、以下の能力を備えた人材を育成します。

- 1. 思いやりと礼節心をもって他者と関わり、円滑な人間関係を形成することができる。
- 2. 幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えるとともに、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとプレゼンテーションができる。
- 3. 自己を客観的に分析・表現し、かつ自己の生き方を省察してデザインすることができる。
- 4. 専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICT の活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。

以上の学修成果を達成するために編成された各専門分野別の教育課程において所定の単位を修得した人に卒業を認定し、短期大学士(フード・健康教育、教養・情報、生活デザイン、ファッション・デザイン)の学位を授与します。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

【教育課程編成の方針】

総合文化学科では、学修成果を体系的に達成するために、全学で共通に展開する科目(全学共通科目)と、それらを基礎とし相互に密接に関連しながら実践力を育む学科共通科目、高度な専門性を育む専門教育科目の教育課程を編成しています。

学科共通科目と専門教育科目については、以下の方針に基づいて編成しています。

- 1. 学科共通科目
- (1) キャリアデザイン力やビジネス社会で活躍できる力を身につける科目群 「キャリアスタディⅠ・Ⅱ」を通じて日本語活用能力及び数的処理能力を培い、就 業への基礎学力を身に付けます。また、簿記等の専門基礎科目(ビジネス)により生 涯にわたってビジネス社会等で活躍するための基礎的能力を育成します。
- (2) 学際的な知識・技能や ICT の活用能力を身につける科目群 他コースの専門教育科目、複数コース間の共通科目の履修を通じて、専門分野を越えた学際的な知識・技能を育成します。また、専門基礎科目(情報技術)を通じて ICT を活用して問題を発見し解決できる能力を育成します。
- (3) 他者と協働しながら地域社会の抱える問題の発見・解決に挑戦する科目群 「社会貢献の理論と実践」「地域貢献活動の実践」の科目で、地域社会へ向けた問題 解決のための企画・提案や情報発信をグループで協力して行うことにより、企画・提案力、情報発信力、コミュニケーション力、他者と協働する力などを育成します。また、これらの力を身につけることで、社会で自立するためのコンピテンシー(仕事力)を育成します。

2. 専門教育科目

(4) 専門分野における知識・技能を身につける科目群

各コースの専門教育科目(必修・選択)を通じて、専門分野における知識・技能を 体系的に学修し、理論と実践を結びつけて課題解決を主導できる力を育成します。各 コースにおける専門教育科目編成の方針は次のとおりです。

<フードマネジメントコース>学位:短期大学士(フード・健康教育)

食品や食品衛生に関する知識、基礎調理技術、健康と栄養、世界の食文化、製菓・製パンに関する知識を学んだ上で、世界文化遺産「和食」や各種の調理技術、フランス菓子製作に関する科目を体系的に配置します。食を総合的にプロデュースでき、食品・製菓業界で活躍できる人材を育成する教育課程を編成します。

<図書館司書・ITコース>学位:短期大学士(教養・情報)

日本語による表現技法、日本の文化・文学に関する科目をベースとして配置し、図書館司書及びITのいずれにも有用な日本語の表現技能と教養を育成します。また、図書館司書資格取得に必要な科目を体系的に配置し、図書に関する情報を分析・処理する知識と技能を身につけ、的確な情報発信を行う力のある人材を育成する教育課程を編成します。

さらに、ICT に関する知識や技能、情報の構成、大量のデータから情報を抽出する技能などを学ぶ科目を体系的に配置し、企業社会で活躍できる人材を育成する教育課程を編成します。

<国際観光・ホテルコース>学位:短期大学士(生活デザイン)

観光・ホテルに関する知識・技能、旅行業務について理解を図る科目、英語でコミュニケーションの取れる会話科目を体系的に配置し、国際的に活躍できる人材を育成する教育課程を編成します。

<ファッション・造形デザインコース>学位:短期大学士(ファッション・デザイン)

ファッションの造形やコーディネート、アパレル設計等に関する知識と技能及び衣料管理士取得のための科目を体系的に配置し、ファッションデザイン業界で活躍できる人材を育成する教育課程を編成します。

また、デザインに関する基礎的な表現技術、コンピューター上での表現技法などを学ぶ 科目を体系的に配置し、平面・立体・空間をデザインする能力を育成する教育課程を編成 します。

【教育課程実施の方針】

総合文化学科では、学修成果を効果的に達成するために、「授業計画(シラバス)」及び「教育課程」に以下の教育課程実施の方針を示し、質の高い学修課程を展開しています。

- 1. 授業方法として、学生自らが作品制作・発表などを行う能動的学習手法(アクティブ・ラーニング)を幅広く導入し、深い学びを促進しています。
- 2. 地域貢献に関わる授業では、グループワーク、PBL (課題解決型授業)、サービスラーニングを実施するなど、多様な授業手法を導入し、学習効果をより高めています。
- 3. 一年次秋学期からでもコースの変更ができる柔軟な履修体制を展開しています。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

総合文化学科では、ディプロマ・ポリシーの【学修成果】で示した目的を理解し、達成できる資質をもった人として、次のような入学者を求めています。

- 1. 二年間の学修を継続するための基礎知識をそなえ、情報機器の基本的操作技能を学んでいる人。
- 2. 文章を読解し表現する日本語運用力、数的処理を含む論理的思考力が認められる人。
- 3. ボランティア活動、サークル活動などの経験を通じて地域貢献への関心をもつ人。
- 4. クラブ活動等に主体的に参加し、他者と協働するコミュニケーション能力を備えた人。 総合文化学科ではこのような人を受け入れるために、多様な受験機会を用意し入学試験 を行っています。こうした試験においては、本学科での学修に必要なコミュニケーション 力、基礎的な学力、論理的な思考力、協調性、主体性などについて、書類審査(調査書、 推薦書など)、学力試験、面接などを組み合わせて総合的に、かつ多面的に評価します。

総合文化学科 履修要項

- 1. 総合文化学科の卒業必要単位数は、全学共通科目(A類)17単位以上 + 専門教育科目(B類)47単位以上 = 計64単位以上です。
- 2. 全学共通科目は別表 1 ~ 3 の通り、「聖徳教育」、「教養科目」、「外国語科目」、「健康教育科目」及び「情報活用 科目」の 5 つの分野から構成されています。学生は卒業の要件として、全学共通科目を、次表の通り17単位以上 修得しなければなりません。実際は、各コースとも別表10の全学共通科目(A類)を履修することになります。

全学共通科目(A類)						
聖徳教育	教養科目と外国語科目	健康教育科目	情報活用科目	計		
6	8	2	1	17		

(1) 教養科目と外国語科目8単位には、外国語4単位を含んでいること。 教養科目はP.12に記載の通り、「社会貢献の理論と実践」(1単位)及び「地域貢献活動の実践」(1単位)は必修です。 加えて、A類、B類、C類からいずれか1科目を選択し2単位以上を履修すること。

- (2) 健康教育科目は、「スポーツと健康 I II 」 が必修です。
- 3. 専門教育科目は、別表11~14の通り4つのコースがあり、1つのコースにはコース別必修科目19単位と、 学科共通科目9単位★が配当されています。
 - ★学科共通科目9単位には、必修科目として「キャリアスタディI・II」4単位と「キャリア実践演習」の1単位、専門基礎科目(情報技術) 計2単位 (「データ整理の方法」1単位、「プレゼンテーションの技法」1単位)が配当されています。また、専門基礎科目(ビジネス)(「簿記I」2単位、「暮らしと経済」2単位)からは、必ずいずれか1科目(2単位)を選択して履修すること。

従って、専門教育科目は次表の通り47単位以上修得することになります。 (なお、上記2. の全学共通科目を、専門教育科目に算入することはできません。)

	専門教育科目(B類)										
学	科共通科目	(9単位以上	コース別科目	(38単位以上)	-1						
++リアスタテ°ィ I • Ⅱ	キャリア実践演習	専門基礎科目 (情報技術)	専門基礎科目 (ビジネス)	コース別 必修科目	選択科目	計					
4	1	2.	2	19*%	19	47					

※図書館司書課程を履修する者はコース別必修科目のうち34単位を必修、選択科目は4単位以上とする。

(1)選択科目については、全コースの科目及び資格の科目群を選択の対象とすることが可能です。 また、本学の4年制大学(心理・福祉学部、文学部)の指定された科目を4単位まで充当することもできます。

4. 資格取得について

総合文化学科では、所定の科目を履修して単位を修得することにより、卒業と同時に下記の資格が取得できます。

フードスペシャリスト (受験資格)、図書館司書、衣料管理士 (2級)、ビジネス実務士、秘書士、 情報処理士、観光実務士

履修方法及び課程履修登録については、各コースの専門教育科目欄の記載内容、65ページ以降の別表15~19 及び72ページの別表22を確認してください。 全学共通科目(A類) 別表10

全写	字共:	通杉	科目(A類)												別表10
F	√	チェ		授業	崩	卒	情報	観光	実ビ	秘	履	修	年	次	
	玄分	ック	授業科目	業の方	位数	業必	報処理	光実務	実務士	書士				2	備考
		欄		法	300	修	士	士			春	秋	春	秋	
			小笠原流礼法基礎講座		2	0						0			
	聖		聖徳教育I		1	0					0	0	0	0	
	恵 徴		聖徳教育Ⅱ		1	0					0		0		
ī	育		聖徳教育皿(SEITOKU Academic Literacy I)	演	1	0					0				
			聖徳教育Ⅲ(SEITOKU Academic Literacy Ⅱ)	演	1	0						0			
			自分を見つめ・拡げ・伝える(芸術領域)		2	*						0	0	0	
			自分を見つめ・拡げ・伝える(文学領域)		2	*						0	0	0	
	A 類		自分を見つめ・拡げ・伝える(歴史領域)		2	*						0	0	0	
	"		自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域 I)		2	*						0	0	0	
			自分を見つめ・拡げ・伝える(文化領域Ⅱ・インターンシップ)	演	1						0	0	0	0	
			自然・社会・科学技術を考える(自然領域)		2	*						0	0	0	教養科目は卒業必修欄に※が
	В		自然・社会・科学技術を考える(科学技術領域)		2	*						0	0	0	付された科目のうち1科目(2単位)
	類		自然・社会・科学技術を考える(社会領域)		2	*						0	0	0	以上を履修すること
			自然・社会・科学技術を考える(環境領域)		2	*						0	0	0	
			心とからだの美的本質を追求する(心の領域)		2	*						0	0	0	
教	С		心とからだの美的本質を追求する(からだの領域)		2	*						0	0	0	
-	類		心とからだの美的本質を追求する(栄養領域)		2	*						0	0	0	-
養			心とからだの美的本質を追求する(スポーツ領域)		2	*						0	0	0	
			日本国憲法		2								•	•	
			社会貢献の理論と実践	演	1	0	0	0	0	0	0				
			地域貢献活動の実践	演	1	0	0	0	0	0		0			
			< Business Field Linkage >								***************************************				
	D		特別講義Ⅰ		2							0			企業系就職希望者は、
	類		特別講義Ⅱ		2							0			Business Field Linkage科目を
			特別講義Ⅲ		1								0		履修することが望ましい
			特別講義IV		2								0		1
			特別講義V		2									0	1
			特別講義VI		1										1
			英語 I ~1	演	1	0					0				
	ች T		英語 I ~2	演	1	0						0			1
	国語		英語Ⅱ~1	演	1	0			·				0		-
			英語Ⅱ~2	演	1	0								0	1
Arts put	- 414-		スポーツと健康Ⅰ	*	1	0					0				
健康	教育		スポーツと健康 II	*	1	0						0			1
情	報		情報活用演習(基礎)	演	1	0			0	0	0				「文書作成技法」を読み替え
			計		52										
			*	1	1	3	1	1				1		3	<u> </u>

(備考)授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

資格については、別表15~19と72ページを確認すること。

フードマネジメントコース 専門科目(B類)

専門教育科目(B類) 学科共通科目 別表11-1 履修年次 中業必修 授業科目 位 備 考 1 2 分 数 春秋春秋 □ キャリアスタディ I □ キャリアスタディ II 2 キャリアスタテ・ 2 □ キャリア実践演習 演 1 Academic Literacy III データ整理の方法プレゼンテーションの技法文書作成技法webの表現技法 演 1 \circ \bigcirc 専門基礎 \bigcirc 演 | 1 科目 (情報技術) 演 (1) 情報活用演習(基礎)に充当 演 1 卒業必修欄に※が付された科目の 2 * 0 専門基礎 科目 (ビジネス) 2 いずれかを履修すること * 2 環 境 🗌 環境論 2 ● ● 春学期または秋学期に開講 計 16

専門教	育科	4目(B類) 必修科目									別表11-2
	チェッ		授金	単	卒	シフ	履	修	年	次	, , ,
区分	ッ	授 業 科 目	授業の方法	単位数	卒業必修	シフィドリスス]	1	- :	2	備考
77	ク欄		法	数	修	îŝ	春	秋	春	秋	
_		基礎調理実習	実	1	*	0		0			※フード科目群選択者のみ必修
フ (製		調理学		2	*	0	0				※フード科目群選択者のみ必修
単す		食品学		2	0	0	0				
· 必修 修修通 18		食品衛生学		2	0	0		0			
18通		食品流通論		2		0				0	
1単単位		食文化概論		2		0			0		
位		官能評価論,鑑別論	演	2	0	\circ			\circ		
<u> </u>		健康と栄養		2	0	0	0				
		製菓実習入門 I	実	1	0		0				
	Ш	製菓実習入門Ⅱ	実	1	0		0				
	Ш	製菓実習基礎 I	実	1	0			0			
		製菓実習基礎Ⅱ	実	1	0			0			
_		製菓実習基礎Ⅲ	実	1	0				0		
必働	Щ	製菓実習基礎IV	実	1	0				0		
修賞	Щ	デザート実習入門 I	実	1					0		
(必修11単位製菓科目群	Ш	デザート実習入門Ⅱ	実	1					0		
	\Box	製パン実習 I	実	1	0				0		
単群	Ш	製パン実習Ⅱ	実	1	0				0		
11/2	Щ	製菓理論の実践 I	実	1						0	
~	Щ	製菓理論の実践Ⅱ	実	1						0	
	Ш	お菓子のアートI	実	1				0			
	Ш	お菓子のアートⅡ	実	1				0			
	Ш	基礎原料学		1	0			0			
	Ш	卒業研究	実	2	0				0	0	
	Ш	調理実習I	実	1	0	0				0	
	Ш	調理実習Ⅱ	実	1	0				0		
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	Ш	調理実習Ⅲ	実	1	0					0	
必		調理実習IV	実	1	0					0	
100ド		食品加工実習	実	1		0				0	
必修8単位)		献立の組立て方		2	0					0	
荷見		フードスペシャリスト論		2		0		0			
二群		フードコーディネート論		2		0				0	
	Ħ	調味料演習	実	1			0				
	同	卒業研究		2	0				0	0	
		計		46	Ŭ						

【授業方法】授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。 【履修年次】履修年次の○印は開講時期を示す。

【資格】フードスペシャリスト取得希望者は、フードスペシャリスト欄の○印の科目をすべて履修すること。

	月 1 억 チェ	目(B類) 選択科目 	授業	単	卒	- 4	修	在	<i>≯</i> r	別表11
-	エック	授業科目	0	1 407	業必		1	:	2	備考
	-	 日本の文学	方法	数 2	修	春〇	秋	春	秋	図書館司書科目群
		日本の文子		2				0		公言明 可言作日析
		日本語表現基礎I		2		0				
		日本語表現基礎Ⅱ		2		-	0	_		
		メディアリテラシー 生涯学習概論		2		0		0		
		図書館概論		2		Ŏ				
		図書館制度・経営論		2					0	
	_	図書・図書館史		2		-			0	
		図書館サービス概論 図書館情報資源概論		2		6	0			
		情報資源組織論		2		ŏ				17
		情報資源組織演習I	演					0		プログラミング科目群と同一科目
		情報資源組織演習Ⅱ 図書館情報技術論	演	2			0		0	
		図書館情報資源特論		2			ŏ			
		情報サービス論		2			0			
		児童サービス論	36	2		-		0		
		情報サービス演習 I 情報サービス演習 II	演演					0	0	
		情報処理論		2			0		Ŭ	プログラミング科目群
		プログラミング基礎		2		Ó				
		日本語プレゼンテーション I 日本語プレゼンテーション II	演演		\vdash	0	0			
		日本語フレセンテーション II CG(ペイント系)演習	演		+	\vdash	0			¬
		CG(イラスト・ドロー系)演習	演	1			Ľ	0		ファッション・造形デザイン科目群と同一科目
		CG(動画)演習	演	_	\perp	L			0	
		編集技法(DTP) I 編集技法(DTP) II	演演		+	\vdash		0	0	
		編集技法(DIP)II データ分析の方法	演		+	\vdash	0			
		データベース演習 I	演	1			Ĺ	0		
		データベース演習Ⅱ	演						0	
		プログラムの書き方 I プログラムの書き方Ⅱ	演演				0	0		
		情報システムの考え方	194	2		0				
		情報コミュニケーション技術		2		Ĭ	0			
		情報資源組織論		2		0				
		図書館情報技術論 情報資源組織演習 I	演	2			0	0		図書館司書科目群と同一科目
		情報資源組織演習Ⅱ	演)	0	
		観光学概論		2		0				観光・ホテル科目群
		観光英会話 I	演			0	_			
		観光英会話Ⅱ 観光実務(国内)	演	2			8			
		観光地理 I (国内)		2			0			
		観光地理Ⅱ(海外)		2				0		
		海外事情		2				0		
		観光関連法規·約款 旅行運賃実務	演	1			0		0	
		ツアープランニング演習	演						ŏ	
		ホテルサービス概論		2			0			
		ゲストサービス演習	演				0			
		プライダル産業論 ホテルの英語	演	2		0		0		
		接客外国語入門	演					Ŭ	0	
		異文化間コミュニケーション		2					0	
		日本語プレゼンテーション I 日本語プレゼンテーション II	演演		-	0	0			
		ホテル実習	伊	1			•		•	 1年次または2年次に開講
		地域インターンシップ	演	1		•	ě			春学期または秋学期に実施
		ホスピタリティ産業論		2	\perp	Ļ			0	we a second of the second in the
		色彩学 ファッションコーディネート論		2	+	0		0		ファッション・造形デザイン科目群
		ファッションデザイン画 I	演		+	0				1
		ファッションデザイン画 II	演	1			0			
		ファッション造形実習 I ~1	実			0	0			
		ファッション造形実習 I ~2 ファッション造形実習 I ~1	美	_	+	\vdash		0		
		ファッション造形実習Ⅱ~2	実	1					0	
		和服造形実習	実			0				
		ファッションビジネス論 ファッションビジネス実務演習	演演		+	-	0	0		
		ファッション商品論	演		+	\vdash		<u> </u>	0	
		アパレル企画論	演	2				0		
		パターンメイキング人体論	,	2		\vdash	6		0	
		アパレル設計・生産論 アパレル設計・生産実習	演	_	-	<u> </u>	0		0	
		アパレルCAD演習	演	_	\top	0				1
		衣生活論		2					0	
		生活材料学 I 生活材料学 II		2	-	0	0			
		生価材料字Ⅱ 繊維学実験 I	実		+			0		
		繊維学実験Ⅱ	実	1					0	
		染色加工学		2			0	_		
		被服整理学 染色加工学実験	実	2	+	<u> </u>		00		
		被服整理学実験	美	_	+	t			0	
		消費科学		2				0	Ĭ	
		デザイン論		2	1	0	<u> </u>			
			1	2	1	1	0	1	1	İ
		インテリア計画 CC(ペイント系)演習	344	_	1		\sim			
		CG(ペイント系)演習	演演	1			0	0		プログラミング科目群と同一科目
			演演演演演演	1 1 1			0	0	0	プログラミング科目群と同一科目

存字期 秋字期 春字期 秋字期 全計 全部教育 空徳教育 空徳教育 空徳教育 空徳教育 空徳教育 空徳教育 空徳教育 空徳教育 空徳教育 安部 ~2 空間のXU Academic Literacy スポーツと健康 大き原花 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き		1:	年	24	年	A →1
全会 失 技 活 所のKU Academic Literacy I EITOKU Academic Literacy I EITOKU Academic Literacy II 英語 I ~1 英語 I ~2 英語 I ~1 整慮教育 II 英語 II ~2 英語 II ~2 大 有報活用演習[基礎] 社会實献の理論と実践 社会實献の理論と実践 計 大 力レゼンテーションの技法 本ヤリアスタディ I 本ヤリアスタディ I ・ ヤ・リアスタディ I ・ 東薬研究 ・ 製菓実習基礎 I ・ 製菓 実習基礎 I ・ 製菓 実習基礎 I ・ 製菓 実習基礎 I ・ 製菓 実著 基礎 I ・ 製菓 実著 基礎 II ・ 製工 Y ・ 大学 T・大学 T 入門 I ・ フードスペシャリスト論 ・ 表子 のアート I ・ カート 大学 T 入門 I ・ フードスペシャリスト論 ・ 基礎		春学期	秋学期	春学期	秋学期	合計
全 学共		聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育I	聖徳教育 I	
通科目 英語 I ~1 教養科目 ART 一次上健康 I 情報活用演習(基礎) 地域貢献活動の実践 社会貢献の理論と実践 7 3 2 20 科目数 8 7 3 2 20 学科共通通科目 キャリアスタディI 等セリアスタディII 等記 I 等		聖徳教育Ⅱ	英語 I ~2	聖徳教育Ⅱ	英語Ⅱ~2	
通科目 英語 I ~1 教養科目 ART 一次上健康 I 情報活用演習(基礎) 地域貢献活動の実践 社会貢献の理論と実践 7 3 2 20 科目数 8 7 3 2 20 学科共通通科目 キャリアスタディI 等セリアスタディII 等記 I 等	全	SEITOKU Academic Literacy I	SEITOKU Academic Literacy II	英語Ⅱ~1		
通科目 英語 I ~1 教養科目 ART 一次上健康 I 情報活用演習(基礎) 地域貢献活動の実践 社会貢献の理論と実践 7 3 2 20 科目数 8 7 3 2 20 学科共通通科目 キャリアスタディI 等セリアスタディII 等記 I 等	子共	SEITOKU Academic Literacy II	スポーツと健康 Ⅱ			
日	通	英語 I ~1	教養科目			
科目数 8 7 3 2 20 学科共通の科目 キャリアスタディII ま 水ノスタディII キャリアスタディII ま 水ノスタディII キャリアスタディII ま 水ノスタディII ま 東州のアスタディII ま 東州のアスタディII キャリアスタディII キャリアスタディII キャリアスタディII キャリアスタディII ま 東州のアスタディII ま 東州のアスタディII ま 東州のアスタディII ま 東州のアスタディII キャリアスタディII ま 東州のアスタディII ま 東州のアスタディアスタディII ま 東州のアスタディII ま 東州のアスタティアスタディII ま ヤリアスタディII ま ヤリスタティアスタティィII ま ヤリスタティアスタティィアスタティィアスタティアスタティアスタティアスタティアスタテ	目目	スポーツと健康 I	小笠原流礼法基礎講座			
科目数 8 7 3 2 20 学科共通通科目 キャリアスタディII キャリアスタディII キャリアスタディII キャリアスタディII キャリアスタディII キャリアスタディII キャリアスタディII キャリアスタディII カーンの技法 ヤックの表別では、またりの		情報活用演習(基礎)	地域貢献活動の実践			
キャリアスタディ キャリアスタディ 1		社会貢献の理論と実践				
学科共通科目 キャリア実践演習 データ整理の方法 「無記 I 書らしと経済 科目数 4 2 1 1 8 (共通本本、業製心を存移科科目目群) 食品学健康と栄養 製菓実習基礎 I 製菓実習基礎 I 製菓実習基礎 II 製菓 実習基礎 II 製工 II 財政	科目数	8	7	3	2	20
科目数 4 2 1 1 8 (共通卒、業嬰心 原格科目目 群 食品常生学 製菓実習基礎 I 製菓実習基礎 I 製菓実習基礎 II 製菓 工厂 II 方 I		キャリアスタディI	キャリアスタディI	キャリアスタディⅡ	キャリアスタディⅡ	
科目数 4 2 1 1 8 (学科	キャリア実践演習	ẫ 簿記 I			
科目数 4 2 1 1 8 (共	データ整理の方法	上暮らしと経済			
科目数 4 2 1 1 8 (通 科	プレゼンテーションの技法				
()	目					
()						
共通空 、業製心 、業製の 、業態の 、 、業的 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	科目数					8
通卒、業製心 東修 科科 目目 群 16 13 10 4 43 一次作科目計 16 13 10 4 43 一次作子のアートII デザート実習入門 I 製菓理論の実践 I 製菓理論の実践 I 製菓理論の実践 II 調理実習 II 1 15					卒業研究	
製心 東信 科科 目目 群 健康と栄養 基礎原料学 官能評価論,鑑別論 製菓実習基礎IV 科目数 4 4 6 1 15 必修科目計 16 13 10 4 43 調理学 調味料演習 お菓子のアート II お菓子のアート II お菓子のアート II プードスペシャリスト論 提択 科目 製工 デザート実習入門 I デザート実習入門 I 調理実習 II 調理実習 II 調理実習 II 調理実習 II 調理実習 IV 食品加工実習 フードコーディネート論 調理実習 I 割理実習 II 調理実習 IV 食品加工実習 フードコーディネート論 調理実習 I 科目数 2 4 5 8 19	通卒					
薬修 科科 目目 財 社 本藤原科子 基礎所科子 目記計画師,鑑別編 製菓実習基礎IV 科目数 4 6 1 15 必修科目計 16 13 10 4 43 調理学 調味料演習 お菓子のアート II お菓子のアート II お菓子のアート II プードスペシャリスト論 基礎調理実習 II 調理実習 II 調理実習 II 調理実習 II 調理実習 IV 食品加工実習 フードコーディネート論 調理実習 I 製菓理論の実践 I 製菓理論の実践 I 製菓理論の実践 I 製菓理論の実践 I 調理実習 II 調理実習 IV 食品加工実習 フードコーディネート論 調理実習 I 科目数 2 4 5 8 19	、業 制心					
科目数 4 4 6 1 15 必修科目計 16 13 10 4 43 調理学 調理学 調味料演習 お菓子のアートII お菓子のアートII お菓子のアートII お菓子のアートII お菓子のアートII お菓子のアートII お菓子のアート II お菓子のア	菓修	健康と栄養	基礎原料学			
群 () 科目数 4 () 4 () () ()						
16 13 10 4 43 43 10 2 4 43 10 4 43 43 2 4 5 8 19 10 4 43 43 43 43 43 43 43				製菓実習基礎IV		
16 13 10 4 43 43 10 2 4 43 10 4 43 43 2 4 5 8 19 10 4 43 43 43 43 43 43 43		,	,			
調理学 お菓子のアート 食文化概論 食品流通論 製菓理論の実践 関東理論の実践 フードスペシャリスト論 選択 基礎調理実習 調理実習 調理実習 調理実習 調理実習 調理実習 調理実習 調理実習 調理実習 利目数 2 4 5 8 19						
選択科演習 お菓子のアートII デザート実習入門 I 製菓理論の実践 I フードスペシャリスト論目 調理実習 II 調理実習 II 調理実習 IV 食品加工実習フードコーディネート論調理実習 I 利目数 2 4 5 8 19	必修科目計				_	43
選択科目 フードスペシャリスト論基礎調理実習						
提供 基礎調理実習 調理実習 調理実習 II 環境論 調理実習 IV 食品加工実習 フードコーディネート論 調理実習 I 科目数 2 4 5 8 19	723					
科目 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月 1月			() ()			
※ 食品加工実習 フードコーディネート論 調理実習 I 科目数 2 4 5 8 19	科		圣 艇 侧			
科目数 2 4 5 8 19	目 ※			來免冊	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
科目数 2 4 5 8 19						
科目数 2 4 5 8 19					, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	科目数	2	4			19
	科目数計		17		12	62

[※]全コースの科目及び資格の科目群から19単位以上を履修

	1	年	24	۱۵ ۸	
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	合計
	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	
	聖徳教育Ⅱ	英語 I ~2	聖徳教育Ⅱ	英語Ⅱ~2	
全	SEITOKU Academic Literacy I	SEITOKU Academic Literacy II	英語Ⅱ~1		
全学共	SEITOKU Academic Literacy II	スポーツと健康 Ⅱ			
通	英語 I ~1	教養科目			
科目	スポーツと健康 I	小笠原流礼法基礎講座			
	情報活用演習(基礎)	地域貢献活動の実践			
	社会貢献の理論と実践				
科目数	8	7	3	2	20
	キャリアスタディI	キャリアスタディI	キャリアスタディⅡ	キャリアスタディⅡ	
学	キャリア実践演習	∫ 簿記 I			
件 共	データ整理の方法	一 暮らしと経済			
学科共通科	プレゼンテーションの技法				
目目					
科目数	4	2	1	1	8
	調理学	食品衛生学	卒業研究	卒業研究	
共通元	食品学	基礎調理実習	官能評価論,鑑別論	献立の組立て方	
一 卒	健康と栄養		調理実習Ⅱ	調理実習Ⅲ	
一	調理実習 I			調理実習Ⅳ	
ド科				調理実習I	
- ド科目 - ド科目					
群					
\smile					
科目数	4	2	3	5	14
必修科目計	16	11	7	8	42
	調味料演習	フードスペシャリスト論	食文化概論	食品流通論	
選		お菓子のアートI	デザート実習入門 I	食品加工実習	
択 科		お菓子のアートⅡ	デザート実習入門Ⅱ	フードコーディネート論	
目			環境論	製菓理論の実践 I	
*				製菓理論の実践Ⅱ	
科目数	1	3	4	5	13
科目数計	17	14	11	13	55

[※]全コースの科目及び資格の科目群から19単位以上を履修

図書館司書・ITコース 専門科目(B類)

専門教育科目(B類) 学科共通科目 別表12-1 履修年次 改業の方法 図書館司書 情報処理士 区 十業 必: 授業科目 位 考 備 数 春 秋 春 秋 修 □ キャリアスタディ I 2 0 0 キャリアスタテ゛ □ キャリアスタディⅡ 2 キャリア 実験演習 □ キャリア実践演習 演 1 Academic Literacy III □ データ整理の方法 0 0 0 演 1 専門基礎 □ プレゼンテーションの技法 演 1 \bigcirc \bigcirc 科目 (情報技術) 文書作成技法 情報活用演習(基礎)に充当 演 (1) \bigcirc webの表現技法 演 □ 簿記 I * * 卒業必修欄に※が付された科目の 2 専門基礎 □ 簿記 II □ 暮らしと経済 科目 (ビジネス) 2 いずれかを履修すること <u>*</u> * 2 環境 □環境論 2 ● 春学期または秋学期に開講 計 16

館司書科目群(必修17単位) の関連の経験を開始を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	3類)必修科目	i dent				144				*	<u>, 別表12-2</u>
分 連 図書館司書科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単元) フローニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニ		授業の	東	卒	図書館	情報		修			
共 図書館司書科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単元) フログラミング科目群(必修17単元) フログラミング科目群(必修17世元) フロ報告に では の	授 業 科 目	の方	位	卒業必修	館司	処理士	1		_	2	備考
図書館司書科目群(必修17単位) 図書館司書科目群(必修17単位) 図書館司書科目群(必修17単位) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□		法	数		書	±	春	秋	春		
図書館司書科目群(必修17単位) 図書館司書科目群(必修17単位) 図書館司書科目群(必修17単位) 図書館司書科目群(必修17単位) 図書館司書科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位)		演	2	0		-	_		0	0	
図書館司書科目群(必修17単位) 図書館司書科目群(必修17単位) 図書館司書科目群(必修17単位) 図書館司書科目群(必修17単位) 図書館司書科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位)			2	*			0		_		
書館司書科目群(必修17単位) 書館司書科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位)			2	*					0		3科目6単位以上を卒業必修とする
館司書科目群(必修17単位) 館司書科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) の図図図を館館を資産館で、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり、できまり、できま			2	*			0	_			
司書科目群(必修17単位) 司書科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位)	語表現基礎Ⅱ		2	*				0	_		
書科目群(必修17単位) 書科目群(必修17単位) 一回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回			2	*					0		
科目群(必修17単位) 科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修1ヵ回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回回			2	*	0		0				
目群(必修17単位) 一日 日本 「のでは、おいまでは、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、では、のでは、の			2	*	0		0				
群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17世元) フローニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニーニ	館制度・経営論		2	*	0					0	各群からそれぞれ2科目11単位以上を卒
○			2	*	0					0	業必修とし、図書館司書課程を履修する
必修17単位) □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	館サービス概論		2	*	0			0			者は全科目26単位を必修とする
修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17単位) フログラミング科目群(必修17単位) フログラミング科目群(必修17単位) フログラミングラジング・ジー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	館情報資源概論		2	*	0		0				HOUTHEST PERMISSION
17単位) プログラミング科目群(必修17単位) プログラミング科目群(必修17世紀) プログラミング科目群(必修17世紀) プログラミング科目群(必修17世紀) フログラミング科目群(必修17世紀) フログラミング科目群(必修17世紀) フログラミング科目群(必修17世紀) フログラミング科目群(必修17世紀) フログラミング・ジング・ジング・ジング・ジング・ジング・ジング・ジング・ジング・ジング・ジ			2	*	0		0				
単位) プログラミング科目群(必修1ヵ でから) プログラミング科目群(必修1ヵ では、	資源組織演習 I	演	1	*	0				0		
位) プログラミング科目群(必修1ヵ でのでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	資源組織演習Ⅱ	演	1	*	0					0	
プログラミング科目群(必修1ヵ プログラミング科目群(必修1ヵ プログラミング科目群(必修1ヵ	館情報資源特論		2	*	0			0			
	サービス論		2	*	0			0			
情報処 情報処 では では では では では では では では	サービス論		2	*	0				0		
□ 図書館処 □ 情報処 □ 日本本本ペイン □ 日本本本ペイン □ CG(年集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集を表す。 □ ローローローローローローローローローローローローローローローローローローロー	サービス演習 I	演	1	*	0				0		
□ 図書館処 □ 情報処 □ 日本本本ペイン □ 日本本本ペイン □ CG(年集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集集を表す。 □ ローローローローローローローローローローローローローローローローローローロー	サービス演習Ⅱ	演	1	*	0					0	
	館情報技術論		2	*	0			0			
プログラミング科目群 (必修1) 「一日報シングラミングを表す。」 「「一日本語語のでは、「一日本語語のでは、「一日本本語では、「一日本本語では、「一日本のでは、「」」は、「日本のでは、「日本の			2	0		0		0			
□ 日本語語ペイン □ 日本語語ペイン □ CG(イン □ CG(集集技) □ CG(集集技) □ CG(サーラー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファ			2	0			0				
□ Family Famil	語プレゼンテーション I	演	1	0			0				
クラミング 科目 群	語プレゼンテーションⅡ	演	1	Ō				0			
CG(イ) 編集技: 編集技: 編集技: にG(動 データ・	ペイント系)演習	演	1					Ō			1
編集技 編集技 編集技 日	イラスト・ドロー系)演習	演	1						0		
グ 編集技:	text(DTP) I	演	1	0					Ō		1
科目	技法(DTP)Ⅱ	演	1	0						0	1
目		演	1							0	
群		演	1	0		0		\circ			
○ データ・必 □ プログラ修 □ プログラ1 □ 情報シン		演	1			Ō			0		
必 □ プログラ 修 □ プログラ 1 □ 情報シン	ダベース演習Ⅱ	演	1			$\overline{}$				0	
修	プラムの書き方 I	演	1	0				\circ			
1		演	1	0		\vdash			0		
	システムの考え方	1,5%	2			\circ	0				
	コミュニケーション技術		2			0		0			
#	資源組織論		2	0	0		0				1
			2	0	0			0			1
	館情報技術論)#±	_								
	資源組織演習 I	演	1	0	0				0		
	資源組織演習Ⅱ 計	演	1 64	0	0	$\vdash\vdash\vdash$				0	

【授業方法】授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期を示す。

【資格】図書館司書取得希望者は、図書館司書欄の○印の科目をすべて履修すること。

【資格】情報処理士取得希望者は、情報処理士欄の○印の科目をすべてと※印の「簿記 I 」または「暮らしと経済」のいずれかを履修すること。 また、別表10の全学共通科目(A類)より「社会貢献の理論と実践」と「地域貢献活動の実践」をあわせて履修すること。

分	チェッ	授業科目	授業の	単位	卒業		! <u>修</u> 1		<u>次</u> 2	備考
	ック欄	按 耒 杆 日	授業の方法	型 数	必修	_	秋	_	_	
		基礎調理実習	実	1	-		Ö		,,	フードマネジメントコース共通科目群
Ì		調理学		2		l S				
	-	食品学 食品衛生学		2		10	0			
		食品流通論		2					0	
		食文化概論		2				0		
		官能評価論,鑑別論	演	2				0		
		健康と栄養	dr	2		Ö				AN HEAT IN THE
		製菓実習入門 I 製菓実習入門 II	実実	1		8				製菓科目群
		製菓実習基礎I	実	1		Г	0			
		製菓実習基礎Ⅱ	実	1			ŏ			
	_	製菓実習基礎Ⅲ	実	1				0		
		製菓実習基礎IV	実	1				0		
		デザート実習入門 I デザート実習入門 II	実実	1				0		
-		ファート美音人门 II 製パン実習 I	実	1		\vdash		0		
		製パン実習Ⅱ	実	1				Ö		
		製菓理論の実践 I	実	1					0	
		製菓理論の実践Ⅱ	実	1					0	
		お菓子のアートI	実	1		_	0			
	_	お菓子のアートⅡ	実	1		-	0			
		基礎原料学 調理実習 I	実	1		\vdash	0		0	 フード科目群
	-	調理実習Ⅱ	実	1	t	t		0		
		調理実習Ⅲ	実	1					0	
		調理実習IV	実	1					0	
		食品加工実習	実	1					0	
		献立の組立て方 フードスペシャリスト論		2		\vdash	0		0	
		フードスペンヤリスト論		2		\vdash	0		0	
		調味料演習	実	1		0				
- 1		観光学概論		2		Ō				観光・ホテル科目群
I		観光英会話 I	演	1		0				
ļ	_	観光英会話Ⅱ	演	1		_	0			
		観光実務(国内)		2		-	0			
- 1		観光地理 I (国内) 観光地理 II (海外)		2		┢	0	0		
	_	海外事情		2				ŏ		
		観光関連法規・約款		2			0			
[旅行運賃実務	演	1					0	
		ツアープランニング演習	演	1			_		0	
ļ		ボテルサービス概論	3Hdr	2		-	0			
ļ		グストサービス演習 ブライダル産業論	演	2		0	0			
ŀ		オテルの英語	演	1		┌		0		
		接客外国語入門	演	1					0	
ļ		異文化間コミュニケーション		2					0	
ļ	_	日本語プレゼンテーション I	演	_		0				
ļ	_	日本語プレゼンテーションⅡ	演	1			0			4 产 V (
ļ	_	ホテル実習 地域インターンシップ	演	1		•	•		•	1年次または2年次に開講 春学期または秋学期に実施
		ホスピタリティ産業論	194	2					0	本子物または似于物に大幅
	-	色彩学		2		0				ファッション・造形デザイン科目群
ļ		ファッションコーディネート論		2				0		
ſ		ファッションデザイン画 I	演	1		0	_			
ļ		ファッションデザイン画Ⅱ	演	1		_	0			
		ファッション造形実習 I ~1 ファッション造形実習 I ~2	実実	1		0	0			
}	_	ファッション 追形美質 II ~1	実	1				0		1
		ファッション造形実習Ⅱ~2	実	1	l			Ľ	0	
		和服造形実習	実	1		0				
ſ		ファッションビジネス論	演	2			0	_		
	_	ファッションビジネス実務演習	演	2		-		0	6	
,		ファッション商品論 アパレル企画論	演演	2		\vdash		0	0	
İ	_	パターンメイキング人体論	换	2		\vdash		9	0	
		アパレル設計・生産論	演	2			0			
	ᆫ		実	1					0	
		アパレル設計・生産実習				0			_	
	<u></u>	アパレルCAD演習	演	1			1		0	
		アパレルCAD演習 衣生活論		2						
		アパレルCAD演習 衣生活論 生活材料学 I		2		0	0			
		アパレルCAD演習 衣生活論 生活材料学 I 生活材料学 I	演	2		0	0	0		
		アパレルCAD演習 衣生活論 生活材料学 I		2 2 2		0	0	0	0	
		アパレルCAD演習 衣生活論 生活材料学 I 生活材料学 I 機維学実験 I 機維学実験 I 染色加工学	演実	2 2 2 1 1 2		0	0		0	
		アパレルCAD演習 衣生活論 生活材料学 I 生活材料学 II 繊維学実験 I 繊維学実験 I 染色加工学 被服整理学	演実実	2 2 2 1 1 2 2		0		0	0	
		アパレルCAD演習 衣生活論 生活材料学 I 生活材料学 I 生活材料学 I 繊維学実験 I 繊維学実験 I 繊維学実 T 被配整理学 染色加工学実験	演実実実	2 2 2 1 1 2 2 2		0				
		アパレルCAD演習 衣生活論 生活材料学 I 生活材料学 I 機維学実験 I 繊維学実験 I 繊維学実 I 繊維学 実 E 被服整理学 染色加工学実験 被服整理学実験	演実実	2 2 2 1 1 2 2 2 1		0		0	0	
		アパレルCAD演習 衣生活論 生活材料学 I 生活材料学 I 生活材料学 I 繊維学実験 I 繊維学実験 I 繊維学実 I 染色加工学 被服整理学 染色加工学実験 被服整理学実験 消費科学	演実実実	2 2 2 1 1 2 2 2 1 1 2				0		
		アパレルCAD演習 衣生活論 生活材料学 I 生活材料学 I 機維学実験 I 繊維学実験 I 繊維学実 I 繊維学 実 E 被服整理学 染色加工学実験 被服整理学実験	演実実実	2 2 2 1 1 2 2 2 1		0		0		
		アパレルCAD演習 衣生活論 生活材料学 I 生活材料学 I 繊維学実験 I 繊維学実験 I 染色加工学 被服整理学 染色加工学実験 被服整理学実験 消費科学 デザイン論 インテリア計画 CG(ペイント系)演習	演実実実	2 2 2 1 1 2 2 1 1 1 2 2			0	0 0		
		アパレルCAD演習 衣生活論 生活材料学 I 生活材料学 II 機維学実験 I 繊維学実験 II 染色加工学 被服整理学 染色加工学実験 被服整理学実験 消費科学 デザイン論 インテリア計画	演実実実実	2 2 1 1 2 2 2 1 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2			0	0		プログラミング科目群と同一科目

	1:	年		 年	A =1
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	合計
	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	
	聖徳教育Ⅱ	英語 I ~2	聖徳教育Ⅱ	英語Ⅱ~2	
全	SEITOKU Academic Literacy I	SEITOKU Academic Literacy II	英語Ⅱ~1		
全学共	SEITOKU Academic Literacy II	スポーツと健康 Ⅱ			
通 科	英語 I ~1	教養科目			
目	スポーツと健康 I	小笠原流礼法基礎講座			
	情報活用演習(基礎)	地域貢献活動の実践			
	社会貢献の理論と実践				
科目数	8	7	3	2	20
	キャリアスタディI	キャリアスタディI	キャリアスタディⅡ	キャリアスタディⅡ	
学科	キャリア実践演習	∫ 簿記 I			
科共通科	データ整理の方法	上暮らしと経済			
通私	プレゼンテーションの技法				
目					
科目数	4	2	1	1	8
$\widehat{}$	生涯学習概論	図書館情報資源特論	情報資源組織演習I	図書館制度·経営論	
共通元	図書館概論	図書館サービス概論	児童サービス論	図書・図書館史	
一、卒	図書館情報資源概論	情報サービス論	情報サービス演習 I	情報資源組織演習Ⅱ	
群 選 必	情報資源組織論	図書館情報技術論	卒業研究	情報サービス演習Ⅱ	
群) 群) 卒業必修科目	※日本の文学	※日本語表現基礎Ⅱ	※日本の文化	卒業研究	
司工書	※日本語表現基礎 I		※メディアリテラシー		
朴					
目					
科目数	6	5	6	5	22
必修科目計	18	14	10	8	50
	情報システムの考え方	CG(ペイント系)演習	CG(ドロー系) 演習	CG(動画)演習	
選		情報コミュニケーション技術	データベース演習 I	データベース演習Ⅱ	
択 科				環境論	
目					
*					
科目数	1	2	2	3	8
科目数計	19	16	12	11	58

※印は3科目6単位以上を卒業必修とする

図書館司書課程を履修する者はコース別必修科目のうち34単位を必修、選択科目は4単位以上とする。

	1:	年	24	 丰	۸ ٦١
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	合計
	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	
	聖徳教育Ⅱ	英語 I ~2	聖徳教育Ⅱ	英語Ⅱ~2	
全	SEITOKU Academic Literacy I	SEITOKU Academic Literacy II	英語Ⅱ~1		
	SEITOKU Academic Literacy II	スポーツと健康 Ⅱ			
通	英語 I ~1	教養科目			
科 目	スポーツと健康 I	小笠原流礼法基礎講座			
	情報活用演習(基礎)	地域貢献活動の実践			
	社会貢献の理論と実践				
科目数	8	7	3	2	20
	キャリアスタディI	キャリアスタディI	キャリアスタディⅡ	キャリアスタディⅡ	
学科共通科	キャリア実践演習	∫ 簿記 I			
共	データ整理の方法	暮らしと経済			
通	プレゼンテーションの技法				
目					
科目数	4	2	1	1	8
	プログラミング基礎	情報処理論	編集技法(DTP) I	編集技法(DTP)Ⅱ	
共通元	日本語プレゼンテーション [日本語プレゼンテーションⅡ	情報資源組織演習I	情報資源組織演習Ⅱ	
、伞	情報資源組織論	データ分析の方法	プログラムの書き方Ⅱ	卒業研究	
目に必		プログラムの書き方 I	卒業研究		
7 1		図書館情報技術論			
) ラミ					
ン					
グ					
科目数	3	5	4	3	15
必修科目計	15	14	8	6	43
	日本の文学	CG(ペイント系)演習	CG(イラスト・ドロー系)演習	CG(動画)演習	
選	日本語表現基礎 I	日本語表現基礎Ⅱ	日本の文化	環境論	
択 科	情報システムの考え方	情報コミュニケーション技術	データベース演習 I	データベース演習Ⅱ	
			メディアリテラシー		
*					
科目数	3	3	4	3	13
科目数計	18	17	12	9	56

[※]全コースの科目及び資格の科目群から19単位以上を履修

国際観光・ホテルコース 専門科目(B類)

専門教育	育和	目(B類) 学科共通科目									別表13-
区 分	チェック	授業科目	授業の方	単位	卒業必修	観光実務	履	1	2		備考
73	棚		法	数	修	±	春	秋	春	秋	
キャリアスタテ・ィ		キャリアスタディI		2	0	0	0	0			
4431 A97 1		キャリアスタディⅡ		2	0	0			0	0	
キャリア 実践演習		キャリア実践演習	演	1	0		0				Academic LiteracyIII
		データ整理の方法	演	1	0	0	0				
専門基礎		プレゼンテーションの技法	演	1	0	0	0				
科目 (情報技術)	靣	文書作成技法	演	(1)	0		0				情報活用演習(基礎) に充当
(III IIII)	靣	webの表現技法	演	1		0	0				
専門基礎		簿記 I		2	*	*		0			卒業必修欄に※が付された科目の
科目		簿記Ⅱ		2					0		いずれかを履修すること
(ビジネス)	靣	暮らしと経済		2	*	*		0			
環境		環境論	İ	2					•	•	春学期または秋学期に開講
		<u></u>		16							

区	チェッ	· 目 (B類) · 必修科目 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	授業の方法	単位	卒業必修	観光実務	履	修	_	<u>次</u>	
分	ク 欄	文 未 杆 日	方法	数	必修	務士	春	秋	春	秋	
		卒業研究	演	2	0				0	0	
		観光学概論		2	0	0	0				
		観光英会話 I	演	1	0	0	0				
睍		観光英会話Ⅱ	演	1	0	0		0			
光		観光実務(国内)		2		0		0			
•		観光地理 I (国内)		2	0	0		0			
ょ		観光地理Ⅱ(海外)		2		0			0		
テ		海外事情		2	0	0			0		
レ		観光関連法規・約款		2		0		0			
斗		旅行運賃実務	演	1		0				0	
羊		ツアープランニング演習	演	1	0	0				0	
Ŧ		ホテルサービス概論		2	0			0			
×		ゲストサービス演習	演	1	0			0			
达 多		ブライダル産業論		2			0				
ĺ		ホテルの英語	演	1	0	0			0		
9		接客外国語入門	演	1						0	
单 立		異文化間コミュニケーション		2	0					0	
立		日本語プレゼンテーション I	演	1	0		0				
_		日本語プレゼンテーションⅡ	演	1				0			
		ホテル実習		1	0			•			1年次または2年次に開講
		地域インターンシップ	演	1			•	•			春学期または秋学期に実施
		ホスピタリティ産業論		2		0				0	
		計		33							

【授業方法】授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

【履修年次】履修年次の○印は開講時期を示す。

【資格】観光実務士取得希望者は、観光実務士欄の○印の科目をすべてと※印の「簿記 I 」または「暮らしと経済」のいずれかを履修すること。 また、別表10の全学共通科目 (A類)より「社会貢献の理論と実践」と「地域貢献活動の実践」をあわせて履修すること。

-	7	目(B類) 選択科目 	扱	東	一本		修	年	Уk	別表13-3
分	ェ ッ ク	授業科目	授業の方法	位数	業必		1	:	2	備考
		基礎關理実習	実	1	修		秋〇	春	秋	フードマネジメントコース共通科目群
		食品学		2		0				
		食品衞生学		2		Ě	0			
		食品流通論		2	\vdash			0	0	
		官能評価論,鑑別論	演	2				Ō		
		健康と栄養 製菓実習入門 I	実	1	\vdash	8				製菓科目群
		製菓実習入門Ⅱ	実	1		0				
		製菓実習基礎 I 製菓実習基礎 II	実実	1			0			
		製菓実習基礎II 製菓実習基礎IV	実	1				0		
		デザート実習入門 I	実実	1		H		0		
		デザート実習入門Ⅱ 製パン実習Ⅰ	実実	1				00		
		製パン実習Ⅱ	実	1				ŏ		
		製菓理論の実践 I 製菓理論の実践 II	実実	1	-				0	
		お菓子のアートI	実	1			0			
		お菓子のアートⅡ 基礎原料学	実	1	\vdash		0			
		調理実習I	実	1					0	フード科目群
		調理実習II 調理実習II	実実	1	-			0	0	
		調理実習IV	実	1					0	
		食品加工実習 献立の組立て方	実	2					0	
		フードスペシャリスト論		2			0			
		フードコーディネート論 調味料演習	実	2	-	0			0	
	回	日本の文学	7	2		ŏ				図書館司書科目群
		日本の文化 日本語表現基礎 I	\vdash	2	1	0		0		
		日本語表現基礎Ⅱ		2		ĭ	0			
		メディアリテラシー 生涯学習概論		2	-	0		0		
		図書館概論		2		ŏ				
		図書館制度·経営論 図書·図書館史		2					00	
		図書館サービス概論		2	\vdash	H	0			
		図書館情報資源概論		2		0				
		情報資源組織論 情報資源組織演習 I	演	1		0		0		プログラミング科目群と同一科目
		情報資源組織演習Ⅱ	演	1					0	
		図書館情報技術論 図書館情報資源特論		2			0			-
		情報サービス論		2			0			
		児童サービス論 情報サービス演習 I	演	2	\vdash			0		
		情報サービス演習Ⅱ	演	1					0	
		情報処理論 プログラミング基礎		2		6	0			プログラミング科目群
		日本語プレゼンテーション I	演	1		0				
		日本語プレゼンテーション II CG(ペイント系) 演習	演演	1			0			
	무	CG(イラスト・ドロー系)演習	演	1				0		ファッション・造形デザイン科目群と同一科目
		CG(動画)演習 編集技法(DTP) I	演演	1	\vdash			0	0	-
		編集技法(DTP) II	演	1					0	
		データ分析の方法 データベース演習 I	演	1			0	0		
		データベース演習Ⅱ	演	1					0	
		プログラムの書き方 I プログラムの書き方 II	演演	1			0	0		
		情報システムの考え方		2		0				
		情報コミュニケーション技術 情報資源組織論		2	\pm	0	0]]
		図書館情報技術論	345	2		Ė	0	_		図書館司書科目群と同一科目
		情報資源組織演習 I 情報資源組織演習 Ⅱ	演	1	\vdash			0	0	
		色彩学		2		0		_		ファッション・造形デザイン科目群
		ファッションコーディネート論 ファッションデザイン画 I	演	2	\vdash	0		0		
		ファッションデザイン画 Ⅱ	演	1			0			
		ファッション造形実習 I ~1 ファッション造形実習 I ~2	実実	1	\vdash	0	0			
		ファッション造形実習Ⅱ~1	実	1			Ė	0		
		ファッション造形実習 II ~2 和服造形実習	実実	1	+	6			0	
	回	ファッションビジネス論	演	2		Ĺ	0	_		
		ファッションビジネス実務演習 ファッション商品論	演演	2	\vdash			0	0	
		アパレル企画論	演	2				0		
		パターンメイキング人体論 アパレル設計・生産論	演	2	\vdash	\vdash	0		0	
		アパレル設計・生産実習	実	1		_	Ĺ		0	
		アパレルCAD演習 衣生活論	演	2		0			0	
	回	生活材料学I		2		0	_		Ĺ	
		生活材料学Ⅱ 繊維学実験 I	実	2	+	-	0	0		
		繊維学実験Ⅱ	実	1			_	Ĺ	0	
		染色加工学 被服整理学	\vdash	2	\vdash	\vdash	0	0	\vdash	
		染色加工学実験	実	1				ŏ	_	
		被服整理学実験 消費科学	実	2	\vdash	\vdash		0	0	
		デザイン論		2		0	_	Ĺ		
		インテリア計画 CG(ペイント系)演習	演	2	\vdash	\vdash	0			 ¬
		CG(イラスト・ドロー系)演習	演	1			Ĭ	0		プログラミング科目群と同一科目
		CG(動画)演習 CG(3D)演習	演演	1	\vdash	\vdash			0	-
				153						

	1:	年	2	年	Λ =1
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	合計
	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	
	聖徳教育Ⅱ	英語 I ~2	聖徳教育Ⅱ	英語Ⅱ~2	
全	SEITOKU Academic Literacy I	SEITOKU Academic Literacy II	英語Ⅱ~1		
全学共	SEITOKU Academic Literacy II	スポーツと健康 Ⅱ			
通 科	英語 I ~1	教養科目			
目	スポーツと健康 I	小笠原流礼法基礎講座			
	情報活用演習(基礎)	地域貢献活動の実践			
	社会貢献の理論と実践				
科目数	8	7	3	2	20
	キャリアスタディI	キャリアスタディI	キャリアスタディⅡ	キャリアスタディⅡ	
学和	キャリア実践演習	∫簿記 I			
共	データ整理の方法	上暮らしと経済			
科共通科	プレゼンテーションの技法				
目					
科目数	4	2	1	1	8
<u></u>	観光英会話 I	観光地理 I (国内)	ホテルの英語	ツアープランニング演習	
観光。	観光学概論	ホテル実習	海外事情	異文化間コミュニケーション	
光・ホテル卒業必修科	日本語プレゼンテーション I	ゲストサービス演習	卒業研究	卒業研究	
ホティル		観光英会話Ⅱ			
ル科		ホテルサービス概論			
科目					
群					
$\overline{}$					
科目数	3	5	3	3	14
必修科目計	15	14	7	6	42
	地域インターンシップ	観光実務(国内)	観光地理Ⅱ(海外)	接客外国語入門	
選	ブライダル産業論	観光関連法規・約款	日本の文化	ホスピタリティ産業論	
択 科		日本語プレゼンテーションⅡ	環境論	旅行運賃実務	
目		暮らしと経済			
*					
A1					
科目数	2	4	3	3	12
科目数計	17	18	10	9	54

[※]全コースの科目及び資格の科目群から19単位以上を履修



ファッション・造形デザインコース 専門科目(B類)

専門教育科目(B類) 学科共通科目 別表14-1 授業の方法 衣料管理士 履修年次 区 -位数 授業科目 備 考 1 **水必修** 分 春秋春秋 □ キャリアスタディ I □ キャリアスタディ II 2 \bigcirc \bigcirc キャリアスタテ・イ 2 \bigcirc □ キャリア実践演習
□ データ整理の方法
□ プレゼンテーションの技法 Academic Literacy III 演 1 演 1 専門基礎 演 1 科目 (情報技術) □ 文書作成技法 情報活用演習(基礎) に充当 演 (1) □ webの表現技法 演 1 □ 簿記 I 卒業必修欄に※が付された科目の 2 * 専門基礎 科目 (ビジネス) いずれかを履修すること 2 2 * ● ● 春学期または秋学期に開講 2 計 16

専門教	育科	目(B類) 必修科目									別表14-2
区	チェ		授業	東	卒	衣料管	履	修			
分	ック	授 業 科 目	授業の方法	位	業必修	管理		1		2	備考
	欗		法	数	修	理士	春	秋	春	秋	
		卒業制作	演	2	0				0	0	
		色彩学		2	0	0	0				
		ファッションコーディネート論		2					0		
		ファッションデザイン画 I	演	1	0		0				
		, , , , e , , , l · H =	演	1	0			0			
		ファッション造形実習 I ~1	実	1	0		0				
		ファッション造形実習 I ~2	実	1	0			0			
フ		ファッション造形実習Ⅱ~1	実	1	0				0		
アッ		ファッション造形実習Ⅱ~2	実	1	0					0	
シ		和服造形実習	実	1	0		0				
=		ファッションビジネス論	演	2	0	0		0			
レシ		ファッションビジネス実務演習	演	2					0		
		ファッション商品論	演	2	0	0				0	
造		アパレル企画論	演	2	0	0			0		
形		パターンメイキング人体論		2	0					0	
デ		アパレル設計・生産論	演	2		0		0			
ザ		アパレル設計・生産実習	実	1		0				0	
1		アパレルCAD演習	演	1		0	0				
レジュ		衣生活論		2		\circ				0	
科目		生活材料学 I		2		\circ	\circ				
群		生活材料学Ⅱ		2		0		0			
_		繊維学実験 I	実	1		\circ			0		
必修		繊維学実験Ⅱ	実	1		0				0	
		染色加工学		2		0		0			
5		被服整理学		2		0			0		
単位		染色加工学実験	実	1		0			0		
<u>1</u> V		被服整理学実験	実	1		0				0	
		消費科学		2		0			0		
		デザイン論		2			0				
		インテリア計画		2			l	0			
		CG(ペイント系)演習	演	1		Ī	l	0			
		CG(イラスト・ドロー系)演習	演	1					0		
		CG(3D)演習	演	1						0	
		CG(動画)演習	演	1						0	
		計		51							
		н		01	1						

【授業方法】授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

【資格】衣料管理士(2級)取得希望者は、衣料管理士欄の○印の科目をすべてと別表17の資格課程科目をあわせて履修すること。

[【]履修年次】履修年次の○印は開講時期を示す。

区	チェ	目(B類)選択科目 	振業の	E E	東	卒業	-		年		,,, ,,
万	ツ ク 棚	授業科目	の力	j E	位 数	必修		l 秋	_	2 秋	備考
		調理実習調理学	美	€	2		0	0			フードマネジメントコース共通科目群
		食品学		1	2		ŏ				
		食品衛生学 食品流通論			2			0		0	
		食文化概論			2				Ö	Ĺ	
		官能評価論,鑑別論 健康と栄養	79	R	2		0		0		
		製菓実習入門Ⅰ	集		1		0				製菓科目群
		製菓実習入門 II 製菓実習基礎 I	美	-	1		0	0			
		製菓実習基礎II 製菓実習基礎II	美		1			0	0		
		製菓実習基礎IV	美		1				ŏ		
		デザート実習入門 I デザート実習入門 II		-	1				0		
		製パン実習I	身	E	1				Ō		
		製パン実習 II 製菓理論の実践 I			1				0	0	
		製菓理論の実践Ⅱ	集	E	1					ŏ	
		お菓子のアートI お菓子のアートⅡ		-	1			0			
		基礎原料学			1			Ŏ			
	_	調理実習 I 調理実習 II			1				0	0	フード科目群
		開理実習Ⅲ 調理実習Ⅳ	美		1					0	
	_	食品加工実習		-	1					0	
		献立の組立て方 フードスペシャリスト論		\perp	2			0		0	
		フードコーディネート論			2					0	
		調味料演習 日本の文学	美	Ĕ.	2		8				図書館司書科目群
		日本の文化			2				0		
		日本語表現基礎 I 日本語表現基礎 II		+	2		0	0			
		メディアリテラシー		1	2			Ŭ	0		
		生涯学習概論 図書館概論		+	2		8				
		図書館制度・経営論		#	2		Ĭ			Ō	
		図書・図書館史 図書館サービス概論			2			0		0	
		図書館情報資源概論		1	2		Ö				
		情報資源組織論 情報資源組織演習 I	万	ì	1		0		0		プログラミング科目群と同一科目
		情報資源組織演習Ⅱ 図書館情報技術論	万	ŧ	1 2			0		0	
		図書館情報資源特論		\dagger	2			0			
		情報サービス論 児童サービス論		+	2			0	0		
		情報サービス演習 I	Ĭ		1				ŏ		
		情報サービス演習Ⅱ 情報処理論	海	Ĭ.	2			0		0	 プログラミング科目群
		プログラミング基礎			2		0	Ŭ			2 · 2 2 3 · 2 · 11 E #1
		日本語プレゼンテーション I 日本語プレゼンテーション II		-	1		0	0			
		CG(ペイント系)演習	万	ŧ	1			ŏ			
		CG(イラスト・ドロー系) 演習 CG(動画) 演習	海	-	1				0	0	│ ファッション・造形デザイン科目群と同一科目 │ │
		編集技法(DTP) I	75		1				0		
		編集技法(DTP)II データ分析の方法		-	1			0		0	
		データベース演習 I データベース演習 II	76		1				0	0	
		プログラムの書き方 I	To the state of th	ŧ	1			0			
	_	プログラムの書き方Ⅱ 情報システムの考え方	ð	i	2		0		0		
		情報コミュニケーション技術		1	2			0			 _
		情報資源組織論 図書館情報技術論		+	2		0	0			図書館司書科目群と同一科目
		情報資源組織演習 I	海	-	1			Ŭ	0		ELEMANTE MATERIAL PROPERTY OF THE PROPERTY OF
		情報資源組織演習Ⅱ 観光学概論	万	1	2		0			0	 観光・ホテル科目群
		観光英会話 I	7	-	1		ŏ				
		観光英会話Ⅱ 観光実務(国内)	79	E	2			0			
		観光地理 I (国内)		1	2			ŏ			
		観光地理Ⅱ(海外) 海外事情		+	2				0		
		観光関連法規・約款		_	2			0	Ē	_	
		旅行運賃実務 ツアープランニング演習		-	1					00	
		ホテルサービス概論			2			0			
		ゲストサービス演習 ブライダル産業論	1	EL .	2		0	0			
		ホテルの英語	79	-	1				0		
		接客外国語入門 異文化間コミュニケーション	道	EL .	2		\vdash			0	
		日本語プレゼンテーション I	79	-	1		0			Ė	
		日本語プレゼンテーションⅡ ホテル実習		N.	1			0		•	 1年次または2年次に開講
	_	地域インターンシップ	76	*	1		•	•			春学期または秋学期に実施

 □ 接客外国語入門
 演 1
 ○

 □ 異文化間コミュニケーション 1
 2
 ○

 □ 日本語プレゼンテーション I
 演 1
 ○

 □ お赤アル実習
 1
 ●
 ●

 □ 地域インターンシップ
 演 1
 ●
 ●

 □ ホスピタリティ産業論
 2
 ○

 [授業方法]授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

	1:	年	23	年	٨٠٠
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	合計
	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	
	聖徳教育Ⅱ	英語 I ~2	聖徳教育Ⅱ	英語Ⅱ~2	
全	SEITOKU Academic Literacy I	SEITOKU Academic Literacy II	英語Ⅱ~1		
子共	SEITOKU Academic Literacy II	スポーツと健康Ⅱ			
全学共通科目	英語 I ~1	教養科目			
17 	スポーツと健康 I	小笠原流礼法基礎講座			
	情報活用演習(基礎)	地域貢献活動の実践			
	社会貢献の理論と実践				
科目数	8	7	3	2	20
	キャリアスタディI	キャリアスタディI	キャリアスタディⅡ	キャリアスタディⅡ	
学科共	キャリア実践演習	簿記 I			
共	データ整理の方法	上暮らしと経済			
通科	プレゼンテーションの技法				
目					
科目数	4	2	1	1	8
<u></u>	色彩学			ファッション造形実習Ⅱ~2	
ファカ		ファッション造形実習 I ~2		ファッション商品論	
アッション科目卒業必修科目	ファッション造形実習 I ~1	ファッションビジネス論	卒業制作	パターンメイキング人体論	
ショダ	和服造形実習			卒業制作	
レント					
科目					
群					
科目数	4	3	3	4	14
必修科目計	16	12	7	7	42
	生活材料学Ⅰ	アパレル設計・生産論	ファッションコーディネート論		
選	アパレルCAD演習	生活材料学Ⅱ	ファッションビジネス実務演習	繊維学実験Ⅱ	
択	デザイン論	染色加工学	消費科学	被服整理学実験	
科目		インテリア計画	繊維学実験 I	衣生活論	
目 ※		CG(ペイント系)演習	被服整理学	CG(3D)演習	
			染色加工学実験	CG(動画)演習	
到日粉	3	5	CG(イラスト・ドロー系)演習	環境論 7	22
科目数計			7		
件日级計	19	17	14	14	64

[※]全コースの科目及び資格の科目群から19単位以上を履修

食を総合的にデザインする能力のある人食品、健康、調理に関する知識と技能を持ち

カリキュラムマップ

フードマネジメントコース(フード科目群)

约尔尔尔斯科

聖徳大学短期大学部

令和3年度入学生

	1年次春学期	1年次秋学期	つ年次春学期	つ年次秋学期
	「食」の基本を身につける	「食」を通じて視野を広げる	「食」を通じて考える力をつける	「食」に関する総合的な知識を得る。 る
	食品学	食品衛生学	官能評価論・鑑別論	(選択) 食品加工実習
食品、健康、調理の基礎知識な知ら 多角なた田がも	調理学	[選択] フードスペシャリスト論		献立の組立て方
翼などう、多国的なほじん 存事にしける	健康と栄養			
		基礎調理実習	(選択) デザート実習入門 I	調理実習皿
調理技術や製菓の製作技術の世末な事時を「面下しす			(選択) デザート実習入門II	(選択) 製菓理論の実践 I
7年4の実践的にあた ブリる				〔選択〕製菓理論の実践Ⅱ
6				調理実習Ⅰ
高度な専門技術を修得し、		(選択) お菓子のアート I	調理実習Ⅱ	調理実習IV
にある。 高価力、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		(選択) お菓子のアートII		
			い、単一の	
Aと記載で一両」を定り、 由でで懸計を値下をせがす				番田川 毎品 世間
			卒業研究	
	データ整理の方法	〔選択必修〕簿記 [(選択)簿記Ⅱ	
アンイ人でおかる実践的技能を結らな値にしてス	プレゼンテーション技法	〔選択必修〕暮らしと経済		
のころに対けるできる。	(選択) Webの表現技法			
	キャリアスタディI	キャリアスタディI	キャリアスタディエ	キャリアスタディエ
キャリア実践力を形成する	キャリア実践演習			
	社会貢献の理論と実践	地域貢献活動の実践		
	英語 I ~1	英語 I ~ 2	英語 I ~ 1	英語 I ~ 2
学びの基礎を身につける	スポーツと健康 I	スポーツと健康エ		
	情報活用演習(基礎)	教養科目	〔選択〕環境論	
	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I
人間性を高める	聖徳教育工		聖徳教育工	
	聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy I • II	聖徳教育皿 SBTOKU Academic Literacy II	小笠原流礼法基礎講座	
	1 4	1 年次	2年次	三次
教育目標	食品の知識、調理技術や	調理技術や製菓づくりの基礎を学ぶ	「食」を多方面から見て、	37、専門性を高める

食を総合的にデザインする能力のある人食品、栄養、調理に関する知識と技能を持ち、

	アガル	9			送 た 田 田	が対める	• 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三				5知 ナ、プ 実践的		題し、かてずれ		兼な視 もに、 を を か が と と に に い に に い い に い い に い い い い い い い		※ を		こ掲げる
)	女業物市。 学行场几个方外	Mark Alexandra			専門分野及び専門分野を計画を記述された。この	子原的な石殿・女熊、7 か通じて多国的・複句的 複句的	- 内閣や印域の課題を記者・実践				社会生活を営む上で必要な知識・技能・学力を身に付け、プレゼンテーションなどの実践的 けっぱい かっかっかっかっかっかっかっかっかん	技能が活準である。	自己を客観的に分析・表現 つ自己の生き方を省察して インすることができる。		幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えるとともに、 実社会で必要とされる基礎的な 英語によるコミュニケーションとフレゼンテーションができ	r _©	思いやりと礼節心をもって他者 と関わり、円滑な人間関係を形 成することができる。		卒業認定・学位授与の方針に掲げる 学修成果
ド科目群) 学びで得られる成果	2年次秋学期	「食」に関する総合的な知識を得る	食品の加工や成分変化を知り、取り扱いなどに必要な多面的な問考力を身に付けることができる。	(GPA,実習)	集団調理実習を通じ、給食施設 における調理の実際を知ること ができる。		調理技術を幅広く学び、ジャンル による違いなども理解するととも に第一線で活躍するシェフから最 新の技術を知ることができる。	(実習)	フードスペシャリストとして、 食品開発・流通など多方面から 「食」を見ることができる。	(GPA)			地域社会と積極的に関わり、課 題解決に至る合理的思考ができ る。	(活動実績、発表)	英語によるコミュニケーション を実践的に応用することができる。	(GPA)	「和」の精神の持つ現代的意義 を理解し、実生活に応用するこ とができる。	(忠原率)	年次 見て、専門性を高める
ネジメントコース(ノード	2年次春学期	「食」を通じて考える力をつける	食品を正しく選択し、食品の評価ができる。	(GPA)	菓子の基本とデザートの技術を 学び幅広く食生活に取り入れる ことができる。		調理技術を幅広く学び、ジャンルによる違いなども理解することができる。	(実習)	食に関する多文化・異文化の知 調を修得し、教養の幅を広げる ことができる。	(GPA)	簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用すること ができる。	(GPA,発表)	課題発見と解決策を明解に表現 し、説得力のある説明ができ る。	(活動実績、発表)	種々の場面における最適な英語 表現を選ぶことができる。	(GPA)	他者に対する思いやりと礼節を 持ち、集団生活で自制すること ができる。	(GPA、作品制作)	2年次 [食]を多方面から見て、
着的文化学域 フードマ	1年次秋学期	「食」を通じて視野を広げる	食品と実践に活かすことができる。 る。衛生についての基礎を学び、	(GPA)	調理の基礎を学び、基本技術を 食生活に取り入れることができる。 る。	(実習)	能細工やチョコレート細工を通 してケーキデコレーションの基 礎を身に付けることができる。				簿記の基礎的技能を習得すると ともに、経済上の時事問題を明 確に説明することができる。	(GPA, 実習)	社会人基礎力を備え、一般企業 の適性検査に対応することができる。	(GPA)	幅広い教養を身に付けるとともに、英語で基本的なコミュニケーションをとることができる。	(GPA)	情操を高め、教養の幅を拡げる ことができる。	(GPA)	1年次 調理技術や製菓づくりの基礎を学ぶ
聖徳大学短期大学部	1年次春学期		食品と栄養素及び調理の基礎を 学び、食生活に取り入れること ができる。	(GPA)		(GPA、実習)			調味料の特徴や使い方を食生活 に取り入れることができる。	(GPA,実習)	各種パソコンソフトの操作技術 を必要に応じて使いこなすこと ができる。	(GPA, 実習)	自己分析と自己形成のための視 点を学び、社会での役割を位置 付けることができる。	(GPA)	学習成果を獲得するための基礎 () 的な知力・体力・技能につい () て、自己分析することができ // る。	(GPA)	社会生活の中で自己実現するた めに必要な行動規範を認識する ことができる。	(GPA)	12度品の知識、調理技術や
令和3年度入学生			食品、健康、調理の基礎知識を知り、多面的な思考力	のこして	調理技術や製菓の製作技術 の基本を実践的に身につけ え	9	高度な専門技術を修得し、応用力、創造性を身につける	9	広い視野で「食」を学び、 自らの感性を育てる力が身	را ا	アジネスで活きる実践的技能や領占を与じつける)	キャリア実践力を形成する		学びの基礎を身につける		人間性を高める		教育目標

食を総合的にデザインする能力のある人食品、健康、調理に関する知識と技能を持ち

カリキュラムマップ

フードマネジメントコース(製菓科目群)

约尔人尔沙科

聖徳大学短期大学部

令和3年度入学生

	1年次春学期 製華と食品表別の表別の	1年次秋学期 まずに関わる技能と関連技術の修	2年次春学期	2年次秋学期
	数本したBを対ける争能が限らず (S)	※米に対しる13年13年27世の19年14年21年21年21年21年21年21年21年21年21年21年21年21年21年	製菓の基礎知識と技能を学ぶ	製菓技術の進化と応用技術を学ぶ
食品、健康、調理の基礎知	食品学	食品衛生学	食品官能評価論、識別論	
識を学び、多面的な思考力	健康と栄養			
を写につける				
	製菓実習入門 I	〔選択〕製菓実習基礎 [〔選択〕製菓実習基礎皿	
調理技術や製菓の製作技術のサイチのサイチを	製菓実習入門Ⅱ	〔選択〕製菓実習基礎II	〔選択〕製菓実習基礎Ⅳ	
り対令分末な別にむにして			(選択) デザート実習入門 I	
ð			〔選択〕デザート実習入門Ⅱ	
製菓における高度な専門技		お菓子のアートI	製パン実習 I	[選択] 製菓理論の実践]
術を修得し、応用力、創造		お菓子のアートⅡ	製パン実習Ⅱ	[選択] 製菓理論の実践 II
杆を身につける			卒業研究	卒業研究
方(1)福野万(6) 存型(2).		基礎原料学	〔選択〕食文化概論	〔選択〕食品流通論
自らの感性を育てる力が身 につく				
	二十九数四分六十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二		11に美数 ていない	
アジャスト活来の事業的な	が出たし、		回東	
いったくいらいの人ないが、まなは、一般をは、一般を行っている。	プレガンドーション技法	(選択必修) 暮らしと経済		
	(選択) Webの表現技法			
	キャリアスタディΙ	キャリアスタディI	キャリアスタディエ	キャリアスタディエ
キャリア実践力を形成する	キャリア実践演習			
	社会貢献の理論と実践	地域貢献活動の実践		
	英語 I ~1	英語 I ~2	英語 I ~ 1	英語 II ~ 2
学びの基礎を身につける	スポーツと健康 I	スポーツと健康エ		
	情報活用演習(基礎)	教養科目	〔選択〕環境論	
	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I
人間性を高める	聖徳教育工	小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育工	
	聖德教育皿 SEITOKU Academic Literacy I • II	聖徳教育皿 SEITOKU Academic Literacy II		
	1.2	丰次	2\$	2年次
教育目標	食品の知識、調理技術や	調理技術や製菓づくりの基礎を学ぶ	「食」を多方面から見て、	引て、専門性を高める

製菓・食品業界で活躍できる人パティシエール(パティシエ)としての力を有し、

	今素認に・字世々もの力針に偽いる 学修成果			本 田 仏 展 记 7 《本 田 仏 服 女 計 与 左 坐	・ PIJJシズクサーブシであるたけ 際的な知識・技能、ICTの活用を で、アクデザー 指令がサゼク問題	. 強して多期的・後日かみも式向政 や地域の課題を思考・実践し解決 することができる。				社会生活を営む上で必要な知識・ 技能・学力を身に付け、プレゼン テーションなどの実践的技能が発	海 CO O。	自己を客観的に分析・表現しか つ自己の生き方を省察してデザイ ンすることができる。		幅広い教養に基づいた多様な視点 から物事を考えるとともに、実社 会で必要とされる基礎的な英語に よるコミュニケーションとプレゼ ソテーションができる。		思いやのと礼節心をもって他者と 関わり、円滑な人間関係を形成す ることができる。			卒業認定・学位授与の方針に掲げる 学修成果
2年次秋学期	製菓技術の深化と応用技術を学ぶ					菓子製造の専門的な知識と技能 を生かし、レシビを創造するこ とができる。	(実技)	食品開発・流通など多方面から「食」を見ることができる。	(GPA)			地域社会と積極的に関わり、課 題解決に至る合理的思考ができ る。	(活動実績、発表)	英語によるコミュニケーション を実践的に応用することができ る。	(GPA)	「和」の精神の持つ現代的意義 を理解し、実生活に応用するこ とができる。	(田席率)	年次	見て、専門性を高める
2年次春学期	製菓の基礎知識を技能を学ぶ			複雑な組み合わせの菓子をチームで工程を考え、時間内に作り上げることができる。	(実技)	製パンを基礎から応用までを学 ぶことで製菓の応用力と創造性 を身につける。	(実技)	食に関する多文化、異文化の知 調を修得し、教養の幅を広げる ことができる。	(GPA)	簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用すること ができる。	(GPA)	課題発見と解決策を明解に表現し、説得力のある説明ができる。	(活動実績、発表)	種々の場面における最適な英語 表現を選ぶことができる。	(GPA)	他者に対する思いやりと礼節を持た、集団生活で自制することができる。	(GPA、作品制作)	24	「食」を多方面から見て、
1年次秋学期	製菓に係わる技能と関連技術の 習得を目指す	食品と衛生についての基礎を学び、実践に活かすことができる。	(GPA)	基本生地と基本クリームを修得 しつつ作業工程を自ら考えるこ とを身につける。	(実技)	島細工やチョコレート細工を通 してケーキデコレーションの基 礎を身に付けることができる。	(実技)	菓子原料を学ぶことで科学的な 側面から製菓理論を知ることが できる。		簿記の基礎的技能を習得すると ともに、経済上の時事問題を明 確に説明することができる。	(GPA)	社会人基礎力を備え、一般企業 の適性検査に対応することができる。	(GPA)	幅広い教養を身に付けるととも に、英語で基本的なコミュニ ケーションをとることができ る。	(GPA)	情操を高め、教養の幅を拡げる ことができる。	(GPA)	年次	食品の知識、調理技術や製菓づくのの基礎を学ぶ
1年次春学期	製菓と食品に係わる基礎知識を学ぶ	食品と栄養素及び調理の基礎を 学び、食生活に取り入れること ができる。	(GPA、実技)	製菓の基礎を学び、製菓における基本生地、基本クる基本作業と基本生地、基本クリームが一人でできるようになる。	(実技)					各種パソコンソフトの操作技術 を必要に応じて使いこなすこと ができる。	(GPA、実習)	自己分析と自己形成のための視 点を学び、社会での役割を位置 付けることができる。	(GPA)	学習成果を獲得するための基礎 的な知力・体力・技能につい て、自己分析することができ る。	(GPA)	社会生活の中で自己実現するために必要な行動規範を認識することができる。	(GPA)	÷	食品の知識、調理技術な
		食品、健康、調理の基礎知 調を知り、多面的な思考力	を与につける	調理技術や製菓の製作技術 の基本を実践的に身につける		製菓における高度な専門技 術を修得し、応用力、創造 性を身につける		広い視野で「食」を学び、自らの感性を育てる力が身につく		ビジネスで活きる実践的技 部や複占を身につける		キャリア実践力を形成する		学びの基礎を身につける		人間性を高める			教育目標

総合文化学科 フードマネジメントコース(製菓科目群) 学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

聖徳大学短期大学部

令和3年度入学生

図書館司書として、ビジネス人として活躍できる人情報の検索・分析・処理能力を身につけ、

カリキュラムマップ (図書館司書科目群) 図書館司書・ITコース **约尔尔尔斯科** 聖徳大学短期大学部 令和3年度入学生

	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期 2年次秋学期
	図書館の基礎を学ぶ	図書館の基礎と情報サービス について学ぶ	応用技能を習得する	応用技能と実践的な力を発展させる
図書館の本質を理解し、図	生涯学習概論	図書館サーバス概論		図書館制度・経営論
	図書館概論			図書・図書館史
に付ける 			卒業研究	卒業研究
情報管源の特徴を理解し、	図書館情報資源概論			
情報資源組織化の理論・技	情報資源組織論		情報資源組織演習I	情報資源組織演習工
術を身にしける	(選択) 情報システムの考え方	図書館情報資源特論	〔選択〕 データベース演習 I	〔選択〕 データベース演習 Ⅱ
公舗サーブスの理論を理解		(選択) 情報コミュニケーション技術	児童サービス論	
し、情報サーバス・児童		情報サーバス調	情報サービス演習 I	情報サービス演習Ⅱ
サービスの実践力を養う		図書館情報技術論		
日本の文化、日本語表現を	〔選択必修〕日本の文学		〔選択必修〕日本の文化	
国際し、日本文学にしいて	〔選択必修〕日本語表現基礎	〔選択必修〕日本語表現基礎Ⅱ		
の教養を身につける			(選択必修) メディアリテラシー	
++1+40 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 +	データ整理の方法	〔選択必修〕簿記 [(選択)簿記Ⅱ	
ロンイスごおいの実践的ないなりないないないないである。	プレゼンテーションの技法	[選択必修] 暮らしと経済		
	(選択) Webの表現技法			
	キャリアスタディI	キャリアスタディI	キャリアスタディエ	キャリアスタディⅡ
キャリア実践力を形成する	キャリア実践演習			
	社会貢献の理論と実践	地域貢献活動の実践		
	英語 I ~1	英語 I ~2	英語I~1	英語 I ~ 2
学びの基礎を身につける	スポーツと健康 I	スポーツと健康エ		
	情報活用演習(基礎)	教養科目		〔選択〕環境論
	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育I	聖徳教育Ⅰ
人間性を高める	聖徳教育工	小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育工	
	聖徳教育皿 SEITOKU Academic Literacy I • II	聖徳教育皿 SEITOKU Academic Literacy II		
	<u></u>	年次	2£	2年次
教育目標	図書館の機能と図書館サー	と図書館サービスの基礎について学ぶ	図書館サービスの応用	図書館サービスの応用と実践について学ぶ

図書館司書として、ビジネス人として活躍できる人情報の検索・分析・処理能力を身につけ、

(Learning Outcomes) 専門分野及び専門分野を越えた学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会問題や地域の課題を思考・実践し解決することができる。 幅広い教養に基づいた多様な視点 から物事を考えるとともに、実社 会で必要とされる基礎的な英語に よるコミュニケーションとブレゼ ンテーションができる。 社会生活を営む上で必要な知識・ 技能・学力を身に付け、プレゼン テーションなどの実践的技能が発 揮できる。 自己を客観的に分析・表現し、か つ自己の生き方を省察してデザイ ンすることができる。 思いやのと礼節心をもって他者と 関わり、円滑な人間関係を形成することができる。 学位授与の方針に掲げる 学修成果 卒業認定・学位授与の方針に掲げる 学修成果 卒業認定• 学びで得られる成果 応用技能と実践的な力を発展させ 図書館の制度や図書館経営につ いて学び、図書館司書の使命を 認識することができる。 図書館の情報資源について、規 則に従って適切に目録を作成す ることができる。 地域社会と積極的に関わり、課 題解決に至る合理的思考ができ る。 「和」の精神の持つ現代的意義 を理解し、実生活に応用するこ とができる。 レファレンスサービスの理論と技能を学び、図書館司書として実践的な力をつけることができる。 英語によるコミュニケーションを実践的に応用することができる。 る。 図書館サービスの応用と実践について学ぶ (活動実績、発表) (GPA・実習) (GPA・実習) (GPA・実習) (図書館司書科目群) (GPA) (田稲禄) ر ر 種々の場面における最適な英語 表現を選ぶことができる。 他者に対する思いやりと礼節を 持ち、集団生活で自制すること ができる。 り辞 民話や昔話などの調査及び作品 制作を通じて、地域文化の特質 を捉えることができる。 課題発見と解決策を明解に表現し、説得力のある説明ができ 簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用することができる。 卒業研究を通して文献の調査、 分析に関する知識を習得できる。 読み聞かせなど児童へのサービスや情報検索サービスを学び、 実社会で活かすことができる。 図書館の情報資源について、 則に従って適切に分類・整理 ることができる。 応用技能を習得する (GPA・作品制作) 発表) (GPA・実習) (GPA・実習) エス (GPA·実習) (活動実績, (GPA) (GPA) (出席學) Ù 図書館司書・IT ۋەك 幅広い教養を身に付けるととも に、英語で基本的なコミュニ ケーションをとることができ る。 利用者に情報を提供する図書館 同書の役割を招握い、図書館に 可書の役割を把握い、図書館に おいて活用されている情報技術 について理解できる。 社会人基礎力を備え、一般企業 の適性検査に対応することができる。 図書館サービスの内容について 理解し、司書として適切な判断 ができる。 図書館の情報資源について、規則に従って分類・整理するための理論と知識を習得し、説明できる。 日本語運用に必要な基礎的知識 を修得し、文字・音声両面で的 確に表現することができる。 簿記の基礎的技能を習得すると ともに、経済上の時事問題を明 確に説明することができる。 情操を高め、教養の幅を拡げる ことができる。 図書館の基礎と情報サービス 図書館の機能と図書館サービスの基礎について学ぶ 年次秋学期 **總** 他女 化 小 本 本 (GPA) (GPA) (GPA) (GPA) (GPA) (GPA) (GPA) 学習成果を獲得するための基礎 的な知力・体力・技能につい て、自己分析することができ る。 生涯学習の意義と図書館の役割 について理解できる。 図書館で扱う情報資源について 理解することができる。 各種パソコンソフトの操作技術 を必要に応じて使いこなすこと ができる。 自己分析と自己形成のための視 点を学び、社会での役割を位置 付けることができる。 社会生活の中で自己実現するために必要な行動規範を認識する ことができる。 作品講読を通じて人生と文学。 の関係を捉えることができる。 聖徳大学短期大学部 図書館の基礎を学ぶ 無認) (GPA, (GPA) (GPA) (GPA) (GPA) (GPA) キャリア実践力を形成する 日本の文化、日本語表現を 理解し、日本文学について の教養を身につける 学びの基礎を身につける 令和3年度入学生 教育目標

情報技術を多角的に活用し問題を解決する能力のある人情報の構成および抽出に関する知識と技能を持ち、

カリキュラムマップ 情報処理による課題解決を行う 情報処理技術を問題解決の場面で活用できる技能を身につける (選択) CG(動画)演習 データベース演習 I 情報資源組織演習工 キャリアスタディ (選択) 環境論 2年次秋学期 編集技法(DTP) 英語 I ~ 2 卒業研究 聖徳教育 図書館司書・ITコース(プログラミング科目群) (選択) CG(イラスト・ドロー系)演習 情報処理による課題解決法を知る (選択) メディアリテラシー 情報資源組織演習I 編集技法(DTP) I プログラムの書き方 データベース演習 (選択) 簿記Ⅱ キャリアスタディ 2年次春学期 聖徳教育工 卒業研究 聖徳教育 英語工 聖德教育皿 SEITOKU Academic Literacy II (選択) 情報コミュニケーション技術 =[選択] CG(ペイント系)演習 (選択必修) 暮らしと経済 (選択) 日本語表現基礎 I 日本語プレゼンアーション 小笠原流礼法基礎講座 情報処理の技術を使う (選択必修) 簿記 I キャリアスタディI 地域貢献活動の実践 データ分析の方法 プログラムの書き方 図書館情報技術論 情報処理技術を理解するとともに利用技能を身につける スポーツと健康 1年次秋学期 情報処理論 英語 I ~2 教養科目 聖徳教育] 聖徳教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy I • II (選択) 情報システムの考え方 ш プレゼンテーションの技法 (選択) 日本語表現基礎 [(選択) Webの表現技法 聖徳大学短期大学部 日本語プレゼンテーション 社会貢献の理論と実践 プログラミング基礎 情報処理の技術を知る 情報活用演習(基礎) キャリア実践演習 キャリアスタディ スポーツと健康 I 情報資源組織論 1年次春学期 英語 I ~ 1 聖徳教育工 聖徳教育 コンビュータを利用して情報を解りやすく構成し、効果的に伝達する技能を身に つける キャリア実践力を形成する 令和3年度入学生 コンピュータを利用して データを系統的に分析する 技能を身につける ビジネスで活きる実践的技 能や視点を身につける 課題を発見、理解し、これ を情報システムにより解決 する力を身につける 学びの基礎を身につける 人間性を高める 教育目標

情報技術を多角的に活用し問題を解決する能力のある人情報の構成および抽出に関する知識と技能を持ち、

	聖徳大学短期大学部《総	総合文化学科 図書館司書・	Πコース (プログラミ	ング科目群) 学びで得られる成果	いる成果(Learning Outcomes) 	(sət
_	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期		
	情報処理の技術を知る	情報処理の技術を使う	情報処理による課題解決法を知る	情報処理による課題解決を行う	卒業認で・字1位号90万軒に掲りる 学修成果	
	伝えるべき情報を知るととも に、情報の符号化としてのデー タの構成が理解できる。	ディジタルコンピューティング およびコミュニケーションの本 質を理解できる。	ディジタルコンピューティング が生活に与える影響を理解し、 安全に利便性を享受できる。			
	(GPA, 実習)	(GPA、実習)	(GPA)			
コンピュータを利用して情報を解りやすく構成し、効果的に伝達する技能を身に			情報を図像で表現したり、テキストを組版する方法を理解できる。 る。	情報を図像で表現したり、テキストを組版することで、伝わりやすい情報表現ができる。	専門分野及び専門分野を越えた学	
			(GPA,実習)	(GPA, 実習)	際的な知識・技能、ICTの活用を 通じて多面的・複合的な社会問題	
		データを分かりやすく整理し、 簡単な分析を行うことができ る。	大規模なデータ集合から、目的 に合うデータを抽出したり、情 報をデータとして符号化でき る。	大量のデータを分析したの、解釈して、情報を抽出することができる。	や地域の課題を思考・実践し解決 することができる。	
		(GPA、実習)	(GPA、実習)	(GPA、実習)		
	情報システムはどのように構成され、どのように使うかが理解できる。	情報システムはどのような課題 をどのような仕組で解決するか を理解できる。	情報システムで解決すべき課題 を発見し、問題解決のための要 件の概要を理解できる。	問題解決のためのシステム要件 を実現するための技法を理解 し、基本的なシステムを実装で きる		
	(GPA, 実習)	(GPA、実習)	(GPA、実習)	(GPA、実習)		
	各種パソコンソフトの操作技術 を必要に応じて使いこなすこと ができる。	簿記の基礎的技能を習得すると ともに、経済上の時事問題を明 確に説明することができる。	簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用すること ができる。		社会生活を営む上で必要な知識・ 技能・学力を身に付け、プレゼン デーションなどの実践的技能が発	
	(GPA、実習)	(GPA)	(GPA)		ずにはる。	
	自己分析と自己形成のための視 点を学び、社会での役割を位置 付けることができる。	社会人基礎力を備え、一般企業 の適性検査に対応することがで きる。	課題発見と解決策を明解に表現 し、説得力のある説明ができ る。	地域社会と積極的に関わり、課 題解決に至る合理的思考ができ る。	自己を客観的に分析・表現し、か つ自己の生き方を省察してデザイ ンすることができる。	
	(GPA)	(GPA)	(活動実績、発表)	(活動実績、発表)		
	学習成果を獲得するための基礎 的な知力・体力・技能につい て、自己分析することができ る。	幅広い教養を身に付けるととも に、英語で基本的なコミュニ ケーションをとることができ る。	種々の場面における最適な英語 表現を選ぶことができる。	英語によるコミュニケーション を実践的に応用することができ る。	幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えるとともに、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコニケーションとブレゼンファーションができる。	
	(GPA)	(GPA)	(GPA)	(GPA)		
	社会生活の中で自己実現するために必要な行動規範を認識することができる。	情操を高め、教養の幅を拡げる ことができる。	他者に対する思いやのと礼節を 持ち、集団生活で自制すること ができる。	「和」の精神の持つ現代的意義 を理解し、実生活に応用するこ とができる。	周いやりと礼節心をもって他者と 関わり、円滑な人間関係を形成す ることができる。	
	(GPA)	(GPA)	(小原本)	(出席率)		
	7 - 7	年次	25	年次		
	情報処理技術を理解するとともに利用技能を身に	ともに利用技能を身につける	情報処理技術を問題解決の場面	情報処理技術を問題解決の場面で活用できる技能を身につける	卒業認定・学位授与の方針に掲げる 学修成果	
ı						

英会話力を持ち、ホスピタリティーマインドのある人観光・ホテル、旅行業務に関する知識と技能及び

カリキュラムマップ 国際観光・ホテルコース **绣们女**化驴粒 聖徳大学短期大学部 令和3年度入学生

	4 仟 6 卅 須 莊	4 併行學犯語	の併み構造品	の併を記述品
	一十次中小班	一十个交外语	と中父中子別	スキグダ小選
	観光・ホテルの基礎を学ぶ	観光・ホテルの実務を学ぶ	体験を通して理解を深める	ホスピタリティーマインドを 体得する
観光業務の基礎的な知識を	観光学概論	(選択) 観光実務 (国内)		ツアープランニング演習
学び、ツアープランを作る	観光英会話 I	観光地理 I (国内)		〔選択〕旅行運賃実務
ことがてみる		〔選択〕観光関連法規・約款		
ホテル業務の基礎的な知識		ホ ド デ デ カ ー が 、 瀬 霊	ホテルの英語	●ホテル実習
を かっ アンタンウン サーバスのノウン		●ホテル実習		
しての与うしての				
木スピタリティ産業のノウ	(選択) 地域インターンシップ	ゲストサービス演習		(選択) 接客外国語入門
ハウを学び、技能を身につ	〔選択〕ブライダル産業論	(選択) 地域インターンシップ		〔選択〕ホスピタリティ産業論
100 to				
観光・ホテル業務に必要な	日本語プレゼンテーション I	観光英会話Ⅱ	〔選択〕観光地理Ⅱ(海外)	異文化間コミュニケーション
語学力を磨き、各国の文化		(選択) 日本語プレゼンテーションII	海外事情	卒業研究
な習慣や距離におる			卒業研究	
1 + 5 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 +	データ整理の方法	〔選択必修〕簿記 [(選択)簿記Ⅱ	
アンイスでおいの実践的な能を値にを使っています。	プレゼンテーションの技法	〔選択必修〕暮らしと経済		
	〔選択〕Webの表現技法			
	キャリアスタディI	キャリアスタディI	キャリアスタディエ	キャリアスタディエ
キャリア実践力を形成する	キャリア実践演習			
	社会貢献の理論と実践	地域貢献活動の実践		
	英語 I ~1	英語 I ~ 2	英語 I ~ 1	英語 I ~ 2
学びの基礎を身につける	スポーツと健康 I	スポーツと健康エ		
	情報活用演習(基礎)	教養科目	〔選択〕環境論	
	聖徳教育 I	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅰ	聖徳教育Ⅰ
人間性を高める	聖徳教育工	小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育工	
	聖徳教育皿 SEITOKU Academic Literacy I • II	聖德教育皿 SEITOKU Academic Literacy I•II 聖德教育Ⅲ SEITOKU Academic Literacy II		
	11	1 年次	2£	2年次
教育目標	観光・ホテル業界に必要なホス	観光・ホテル業界に必要なホスピタリティーとは何かを理解する	観光・ホテル業界に必要な知識を	観光・ホテル業界に必要な知識を学び体験することで理解を深める

ホスピタリティーマインドのある人観光・ホテル、 旅行業務に関する知識と技能及び英会話力を持ち、

学びで得られる成果 (Learning Outcomes)

国際観光・ホテルコース

聖徳大学短期大学部 総合文化学科

令和3年度入学生

	- 全美端に・字U投与のJo計に掲りる - マインドを 学修成果 - 学修成果	理解し、お客 旅行計画を提	表会)	る 日間 語を か ジョン ビ		社会生活を営む上で必要な知識・技能・学力を身に付け、ブレインテーションなどの実践的 しばいず	技能が発揮できる。	に関わり、課 自己を客観的に分析・表現し、 30思考ができ かつ自己の生き方を省察してデ ザインすることができる。		ニケーション 幅広い教養に基づいた多様な視ることができ 点から物事を考えるとともに、実社会で必要とされる基礎的な英語によるコミュニケーションとブレゼンテーションができ	κδ	の精神の持つ現代的意義 問いやりと礼節心をもって他者 し、実生活に応用するこ さる。 成することができる。			卒業認定・学位授与の方針に掲げる				
つ年次秋学期	ホスピタリティーマイ 体得する) お客様の期待値を理解し、お客様の要望に添った旅行計画を提案できる。	(GPA、報告発表会)	ホテルの業務を実体験するできる。	(GPA)	接容に必要な最低現を学ぶことがでいまれる。 おえどタリティ産いことができない。 おえどタリティ産いでことができる。	(GPA)	外国の人とコミュ をとることができ	(GPA 研究発表会)			地域社会と積極的に関わり、課 題解決に至る合理的思考ができ る。	(活動実績、発表)	英語によるコミュニケーションを実践的に応用することができる。	(GPA)	を を 関が で が	(魯智田)	年次	14-1 1 1 + OH + OH + OH + OH + OH + OH + OH
つ年次春学期	体験を通して理解を深める	旅程作成に必要な知識を身につ けることができる。	(GPA)	様々なお客様にサービスするこ; とができる 必要に応じて基礎 的な英単語やフランス語単語を 発話できる)。	(GPA、実技テスト)			世界情勢やそれぞれの国の様子 を理解できる。	(GPA)	簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用すること ができる。	(GPA)	課題発見と解決策を明解に表現 し、説得力のある説明ができ る。	(活動実績、発表)	種々の場面における最適な英語 表現を選ぶことができる。	(GPA)	他者に対する思いやりと礼節を 持ち、集団生活で自制すること ができる。	(田開本)	55	
1年次秋学期	観光・ホテルの実務を学ぶ	観光業に必要な基礎知識を身に つけることができる。	(GPA)	ホテル業とはどのようなもの か、業務の種類を学ぶことがで きる。	(GPA)	様々なホスピタリティ産業があ ることを理解できる。	(GPA)	英語圏を旅行する際に必要な英 語を使うことができる。	(GPA)	簿記の基礎的技能を習得すると ともに、経済上の時事問題を明 確に説明することができる。	(GPA)	』社会人基礎力を備え、一般企業 の適性検査に対応することがで きる。	(GPA)	幅広い教養を身に付けるとともに、 英語で基本的なコミュニケーションをとることができる。 る。	(GPA)	情操を高め、教養の幅を拡げる ことができる。	(GPA)	1次	
1年次春学期	観光・ホテルの基礎を学ぶ	観光業とはどういうものか、自 分が客の立場で理解できる。	(GPA)			ホスピタリティ産業で働くとは どういうことかを理解できる。	(GPA 報告発表会)	相手に伝えたいことをきちんと 表現できる。	(GPA)	各種パソコンソフトの操作技術 を必要に応じて使いこなすこと ができる。	(GPA、実習)	自己分析と自己形成のための視 点を学び、社会での役割を位置 付けることができる。	(GPA)	学習成果を獲得するための基礎 的な知力・体力・技能につい て、自己分析することができ る。	(GPA)	社会生活の中で自己実現するために必要な行動規範を認識する ことができる。	(GPA)	1年)	
		観光業務の基礎的な知識を 学び、ツアープランを作る		ホテル業務の基礎的な知識を学び、サービスのノウハウク		ホスピタリティ産業のノウ ハウを学び、技能を身につ ける		観光・ホテル業務に必要な 英語力を磨き、各国の文化	の記憶をはいる	Pafe Pafe		学びの基礎を身につける					教育目標		

ファッションデザイン業界で活躍できる人ファッション・デザインの知識・技能を身に付け

カリキュラムマップ ファッション・造形デザインコース 聖徳大学短期大学部 令和3年度入学生

	一个次每分别	1年次秋字期	2年次春字期	2年次秋字期
	ファッション・デザインに係わる 基礎知識を習得する	ファッション・デザインに係わる 基礎技術を身につける	ファッション・デザインに係わる 専門知識と技能を身につける	ファッション・デザインに係わる 実践的な力を身につける
	ファッションデザイン画I	ファッションデザイン画口	(選択) ファッションコーディネート論	
の・専門的な知識・技術を身に	田彩邨		卒業制作	卒業制作
つけ、日常生活に役立てる	[選択]デザイン論	[選択]インテリア計画		
ファッション造形の基礎的・専門的なには、	ファッション造形実習 I ~1	ファッション造形実習 I ~2	ファッション造形実習 I ~1	ファッション造形実習 I~2
LJBVな払職・技術な多にプリ、 日常生活に役立てる	和服造形実習			
		レアッションバジネス端	(選択) ファッションビジネス実務演習	ファッション商品調
ファッション に乗り である です。	[選択] 生活材料学]	〔選択〕生活材料学Ⅱ	[選択] 繊維学実験]	〔選択〕織維学実験Ⅱ
の分型にノス、庁米になりてる		(選択) 染色加工学	(選択) 染色加工学実験	
)			〔選択〕被服整理学	〔選択〕被服整理学実験
			[選択] 消費科学	〔選択〕衣生活論
アパレル企業で使用するパターンは後々自じった。今後に	(選択)アパレルCAD演習	(選択) アパレル設計・生産論	アパレル企画論	(選択) アパレル設計・生産実習
ノ牧狐なずにノン、丘米へは上てる				パターンメイキング人体論
コンピュータを利用した情報伝		〔選択〕CG(ペイント系)演習	(選択) CG(イラスト・ドロー系)演習	〔選択〕CG(3D)演習
達の技能を身につける				〔選択〕CG(動画)演習
++++++++++++++++++++++++++++++++++++++	データ整理の方法	(選択必修)簿記I	(選択) 簿記Ⅱ	
アンイ人でおかの実践的女舎を結れな何でしてん	プレゼンテーションの技法	(選択必修) 暮らしと経済		
	(選択) Webの表現技法			
	キャリアスタディI	キャリアスタディI	キャリアスタディエ	キャリアスタディエ
キャリア実践力を形成する	キャリア実践演習 キャリア			
	社会貢献の理論と実践	地域貢献活動の実践		
	英語 I ~1	英語 I ~2	英語 I ~ 1	英語 I ~ 2
学びの基礎を身につける	スポーツと健康 I	スポーツと健康エ		
	情報活用演習(基礎)	教養科目		〔選択〕環境論
	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I	聖徳教育 I
「問対な言えん	聖徳教育Ⅱ	小笠原流礼法基礎講座	聖徳教育工	
	聖徳教育皿 SETOKU Academic Literacy I • I	聖徳教育皿 SETOKU Academic Literacy II		
	15	1年次	2	2年次
教育日標			りた)ノロイトきみ「東湾イグナー系記品州のアダプン・ビザー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

業界で活躍できる人ファッション・デザインの知識・技能を身に付けファッションデザイン

令和3年度入学生	学生 聖徳大学短期大学部	5 総合文化学科 ファッ	ション・尚形デザインコー	ス 学びで得られる成果	(Learning Outcomes)
	1年次春学期	1年次秋学期	2年次春学期	2年次秋学期	女继驾守。 学行语与多古第二届代列
	ファッション・デザインに係わる 基礎知識を習得する	ファッション・デザインに係わる 基礎技術を身につける	ファッション・デザインに係わる 専門知識と技能を身につける	ファッション・デザインに係わる 実践的な力を身につける	・チビガサのソン町に指い 学修成果
ファッション・デザインの 基礎的・専門的な知識・技 術を身につけ、日常生活に	色彩やデザインに関する知識があり、考案したアイデアを紙の とに表現するための基本的技術 を身に付けることができる。	考案したアイディアを自分らしく デザイン画に表現することができる。インデリアの知識があり、計画することができる。	コーディネートに欠かせないアイデムで個性的な装いに重点をおき、時代に対応しながらファッションを代に対応したがあることができる。 トータルにとらえることができる。	短大で学んだ2年間の集大成として学んだすべてを活かし、個して学んだすべてを活かし、個性豊かな作品を制作することができる。	
M	(GPA 実技)	(GPA 実技)	(GPA 実習)	(作品制作 発表)	
ファッション造形の基礎 的・専門的な知識・技術を 身につけ、日常生活に役立 デュ	物づくりの提案や企画、デザインを学び、造形に関しての知識や表現力を基礎から身につけることができる。	ファッション造形の基礎を学び、考案したデザインを的確に が、表現したデザインを的確に 制作、表現する技術を身につけ ることができる。	服づくりの基礎と専門を学んだ 上で、ファッションに於ける感性重視の作品制作の技術を身に つけることができる。	ファッション造形の基礎と応用 技術を身につけ、感性豊かな作 品を制作することができる。	
9	(GPA 実習)	(GPA 実習)	(GPA 実習)	(GPA 実習)	専門分野及び専門分野を越えた
ファッション企業の業務内容を与につけ、企業で役立てる	女服の材料(繊維素材)に関する 知識を理解し、説明することが できる。	ファッション企業の実務内容 (ファッション商品、企画、販 売を理解し、説明する能力を 身につけることができる。	ファッション産業の仕組みを理解しビジネス実務を実践的に企業の中で役立てることができる。 る。	衣生活やファッション商品企画 の方法を理解し、ファッション 企画力を身につけることができる。	学際的な知識・技能、ICTの活用を通じて多面的・複合的な社会 問題や地域の課題を思考・実践 し解決することができる。
	(GPA)	(GPA 実習)	(GPA 実習)	(GPA 実習)	
アパレル企業で使用するパターン技術を身につけ、企業で役立てる	アパレルCADの知識と操作方法の スキルを身につけ、パターンメー キング、グレーディング、マーキ ソグなどをスムーズに行うことが できる。	アパレルメーカーの設計から生産までを学ぶことで、服飾業界の流れを身につけることができる。	企業のパターンと縫製工程に 従って実物の作品を制作し、工 業縫製を身につけることができ る。	心地よいな服を設計するために 人体の動きを捉えたパターンを 作成することができる。	
	(GPA 実習)	(GPA)	(GPA 実技)	(GPA 実技)	
コンパュータを利用した情		CG(ペイント系)の知識があり、高度な表現ができる。	CG(イラスト・ドロー系)の知識 があり、高度な表現ができる。	CG(3D、動画)の知識があり、高度な表現ができる。	
<u>T</u>		(作品制作)	(作品制作)	(作品制作)	
アジネスで活きる実践的技能や領点を与じして必	各種パソコンソフトの操作技術 を必要に応じて使いこなすこと ができる。	簿記の基礎的技能を習得すると ともに、経済上の時事問題を明 確に説明することができる。	簿記検定2級レベルの技能を習得し、ビジネスに活用することが できる。		社会生活を営む上で必要な知識・技能・学力を身に付け、プレゼンテーションなどの実践的ははなった。
	(GPA,実習)	(GPA)	(GPA)		校能が 光揮 こらる。
キャリア実践力を形成する	自己分析と自己形成のための視 点を学び、社会での役割を位置 付けることができる。	社会人基礎力を備え、一般企業 の適性検査に対応することがで きる。	課題発見と解決策を明解に表現 し、説得力のある説明ができ る。	地域社会と積極的に関わり、課 題解決に至る合理的思考ができ る。	自己を客観的に分析・表現し、 かつ自己の生き方を省察してデ ザインすることができる。
	(GPA)	(GPA)	(活動実績、発表)	(活動実績、発表)	
学びの基礎を身につける	学習成果を獲得するための基礎的 な知力・体力・技能について、自 己分析することができる。	幅広い教養を身に付けるとともに、英語で基本的なコミュニケーションをとることができる。	種々の場面における最適な英語 表現を選ぶことができる。	英語によるコミュニケーション を実践的に応用することができる。	幅広い教養に基づいた多様な視点から物事を考えるとともに、実社会で の物事を考えるとともに、実社会で 必要とされる基礎的な英語によるコ
	(GPA)	(GPA)	(GPA)	(GPA)	ドコージーションヘノファンナーションが行きる。
人間性を高める	社会生活の中で自己実現するために必要な行動規範を認識する ことができる。	情操を高め、教養の幅を拡げる ことができる。	他者に対する思いやりと礼節を 持ち、集団生活で自制すること ができる。	「和」の精神の持つ現代的意義 を理解し、実生活に応用するこ とができる。	思いやりと礼節心をもって他者と関わり、田滑な人間関係を形成することができる。
	(GPA)	(GPA)	(出席率)	(出席率)	
教育目標	1位とシャン・アガインに家むの意	1年次・デザインに係わる幅広い基礎知識と技術を身につける	2年2月1日 1月1日 2年次 デザインに係わる専門知識と技術を習得し実践力を身につける	卒業認定・学位授与の方針に掲げる 学修成里	

[図書館司書] 別表15

チ		授業	単	司	履	修	年	次	
エッ	授 業 科 目	の	位]	L	6	2	備考
ク欄		方法	数	書	春	秋	春	秋	-
	生涯学習概論	IA.	2	0	0	-	,.		
	図書館概論		2	0	0				
	図書館情報技術論		2	0		0			
	図書館制度・経営論		2	0				0	
	図書館サービス概論		2	0		0			
	情報サービス論		2	0		0			
	児童サービス論		2	0			0		
	情報サービス演習 I	演	1	0			0		
	情報サービス演習Ⅱ	演	1	0				0	
	図書館情報資源概論		2	0	0				
	情報資源組織論		2	0	\circ				
	情報資源組織演習I	演	1	0			0		
	情報資源組織演習Ⅱ	演	1	0				0	
	図書館基礎特論		2	Δ					△印を付された科目について、短期
	図書館サービス特論		2	Δ					大学部向けに開講されるのは図書館 情報資源特論と図書・図書館史のみ
	図書館情報資源特論		2	Δ		0			である。その他の科目の履修を希望
	図書・図書館史		2	Δ				0	する場合は、4年制大学向けに開講さ
	図書館施設論		2	Δ					れた科目を担当教員の許可を得て履
	図書館総合演習		1	Δ					修すること。

[履修上の注意]

図書館司書の資格を取得する者は、司書欄に○印を付された科目全部と、△印を付された科目のうち2科目以上を履修しなければならない。

[調理師受験対策講座]

別表16

LH/F										733 324 . 0
チェ		授業	単	履	修	年	次			
ッ	授 業 科 目	の	位	1		2	2	備	考	
ク 欄		方法	数	春	秋	春	秋			
	衛生法規		2				0			
	公衆衛生学		2	\circ						
	健康と栄養		2	\circ						
	ライフステージと栄養		2		0			栄養学各論を含む。		
	官能評価論,鑑別論	演	2			0				
	食品学		2	\circ						
	食品衛生学		2		0					
	食文化概論		2			0				
	調理学		2	\circ						
	献立の組立て方		2				0			
	食品加工実習		1				0			
	基礎調理実習	実	1		\circ					
	調理実習I	実	1				0			
	調理実習Ⅱ	実	1				0			
	調理実習Ⅲ	実	1			0				
	調理実習IV	実	1				0			

※調理師試験の受験には、卒業後2年間の実務経験が必要です。

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

[衣料管理士(2級)]

別表17

チェ		授業	崩	履	修	年	次	
ッ	授 業 科 目	の	位]	L	2	2	備考
横		方法	数	春	秋	春	秋	
	ファッションビジネス論	演	2		0			
	衣生活論		2				0	
	ファッション商品論	演	2				0	
	アパレル設計・生産論	演	2		0			
	アパレル企画論	演	2			0		
	アパレルCAD演習	演	1	\circ				
	生活材料学 I		2	\circ				
	生活材料学Ⅱ		2		\bigcirc			
	繊維学実験 I	実	1			0		
	繊維学実験Ⅱ	実	1				0	
	染色加工学		2		\bigcirc			
	被服整理学		2			0		
	染色加工学実験	実	1			0		
	被服整理学実験	実	1				0	
	アパレル設計・生産実習	実	1				0	
	色彩学		2	\bigcirc				
	消費科学		2			0		

[フードスペシャリスト(受験資格)]

別表18

チ		授		履	li/sc	年	Y/₩					
ェ		業	単	旭		+	111					
ッ	授 業 科 目	の	位		l	:	2	備考				
ク 欄		方法	数	春	秋	春	秋					
	フードスペシャリスト論		2		0							
	フードコーディネート論		2				0	- - - -				
	官能評価論,鑑別論	演	2			0						
	基礎調理実習	実	1		0							
	調理実習I	実	1				0					
	調理学		2	\circ								
	食品加工実習	実	1				0	食品加工学を含む。				
	食品流通論		2				0					
	食文化概論		2			0		- - -				
	食品学		2	0								
	食品衛生学		2		0							
	健康と栄養		2	0				1				

(備老)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。

[情報処理士・観光実務士・ビジネス実務士・秘書士]

別表19

チ		授業	単	情 報	観	Ľ	秘	履	修	年	次	
ェッ	授業科目	の	位	処	観光実務士	実務士	書		1		2	備考
ク 欄		方法	数	理士	務 士	±ス	士	春	秋	春	秋	
	情報活用演習(基礎) (「文書作成技法」)	演	1			0	0	0				
	社会貢献の理論と実践	演	1	0	0	0	0	0				
	地域貢献活動の実践	演	1	0	0	0	0		0			
	キャリアスタディ I		2	0	0	0	0	0	0			
	キャリアスタディⅡ		2	0	0	0	0			0	0	
	データ整理の方法	演	1	0	0	0	0	0				
	プレゼンテーションの技法	実	1		0			0				
	webの表現技法	演	1		0			0				
	暮らしと経済		2	*	*	*	*		0			※が付された科目の
	簿記 I		2	*	*	*	*		0			いずれかを履修すること。
	日本語プレゼンテーション I	演	1			0	0	0				1
	日本語プレゼンテーションⅡ	演	1			0	0		0]
	ビジネス実務総論 I		2			0		0				1
	ビジネス実務総論Ⅱ		2			0			0			1
	ビジネス実務演習 I	演	1			0				0		
	ビジネス実務演習Ⅱ	演	1			0					0	
	秘書学概論 I		2				0	0				
	秘書学概論Ⅱ		2				0		0			
	秘書実務演習I	演	1				0			0		
	秘書実務演習Ⅱ	演	1				0				0	
	情報処理論		2	0					0			
	情報システムの考え方		2	0				0				
	情報コミュニケーション技術		2	0					0			
	データ分析の方法	演	1	0					0			
	データベース演習 I	演	1	0						0		
	データベース演習Ⅱ	演	1	0							0	
	観光学概論		2		0			0				
	観光英会話 I	演	1		0			\circ				
	観光英会話Ⅱ	演	1		0				0			
	観光実務(国内)		2		0				0			
	観光地理 I (国内)		2		0				0			
	観光地理Ⅱ(海外)		2		0					0		
	海外事情		2		0					0		
	観光関連法規・約款		2		0				0			
	旅行運賃実務	演	1		0						0]
	ツアープ・ランニング・演習	演	1		0						0	1
	ホスピタリティ産業論		2		0						0	1
	ホテルの英語	演	1		0					0		1

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義科目を示す。



専攻科 履修要項

専攻科 医療保育専攻

教育課程は別表20のとおりとする。

- 1. 修了所要単位は、学則により47単位以上と定められています。
- 2. 幼稚園教諭一種免許状を取得する者(幼稚園教諭二種免許状所有者に限る)は、学士の学位取得 (62単位以上必修)に加えて、別表20の幼一種免欄に〇印の付された科目を修得することが必要となります。

専攻科 服飾文化専攻

教育課程は別表21のとおりとする。

- 1. 修了所要単位は、学則により54単位以上と定められています。
- 2. 選択科目より10単位以上修得しなければなりません。
- 3. 衣料管理士(1級)の資格を取得するには②欄が必修になります。

(備考)

授業の方法欄の「演」は演習科目、「実」は実験・実習科目、※は講義及び実技科目、無印は講義課目を示す。

	チ	○ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	授		1	<u></u>	FE 4.	&- ₩u	// /
	工		業	単	① 必	②幼	復個	多期	
	ック	授 業 科 目	の 方	يبير	XL.	<u>—</u>	春	秋	備考
	欄		法	位	修	免	, H.	700	
		医療社会学		2	0		0		
		カンファレンス I	演	1	0		0		
		カンファレンスⅡ	演	1				0	
		乳児期の病態生理学		2	0		0		
		小児医学研究 I		2	0		0		
		小児医学研究Ⅱ		2	0			0	
		医療保育論		2	0		0		
		保育看護 I		2	0		0		
		保育看護Ⅱ	演	1	0			0	
		乳児保育研究 I	演	1	0		0		
		乳児保育研究Ⅱ	演	1	0			0	
専		療養保育研究 I ~1	演	1	0		0		
		療養保育研究 I ~2	演	1	0			0	
		療養保育研究Ⅱ~1	演	1	0		0		
門		療養保育研究Ⅱ~2	演	1	0			0	
		療養保育研究Ⅲ	演	1				0	
		音楽療法研究		2	0	0		0	
教		家族理解と援助の社会学		2	0			0	
1		カウンセリング研究 I	演	1	0	0	0		
		カウンセリング研究Ⅱ	演	1	0	0		0	
育		発達臨床心理学研究 I	演	1	0	0	0		
同		発達臨床心理学研究Ⅱ	演	1	0	0		0	
		障害児心理学研究		2	0	0		0	
١		病児保育研究		2	0	0		0	
科		障害児保育研究		2	0	0		0	
		医療保育実習	実	3	0			0	
		修了論文		2	0				
目 [音楽A		2	Δ		0		
		図画工作A		2	Δ		0		A 印页到日内5十 1到日社
		体育A		2	\triangle				△印の科目のうち、1科目は 必修。
		国語A		2	Δ			0	- 120
		生活A		2	Δ			0	
		保育内容指導法研究		2	0	0	0		
		幼児教育課程研究		2	0	0	0		
		教育方法技術研究		2	0	0	0		
		児童福祉研究		2			0		
		地域福祉研究		4			0	0	
		児童館論		2			0		
		児童館実習	実	4			0	0	
		計		69	47	20			

	チ		授	114	①	2		履値	多 期		
	エッ	授業科目	業の・	単	必	級		L	:	2	備考
	ク 欄		方法	位	修	衣	春	秋	春	秋	
		服飾文化特論		2	0		0				
		比較経済文化論		2	0			0			
服飾文化		服飾文化技術論 I	演	1	0				0		
		服飾文化技術論Ⅱ		1	0					0	
		空間造形特論		2	0			0			
		高分子化学		2	0		0				
		機能材料学		2	0		0				
		繊維工学特論		2				0			
被服材料		繊維製品試験法		2	0	0		0			
		衣料機器測定法	実	2	0	0		0			
		繊維学特別実験	実	1	0	0	0				
		材料学特別実験		1	0	0		0			
		被服人間工学		2	0	0				0	
		被服造形科学	実	2	0	0			0		
被服構成		被服造形実習 I		1	0	0			0		
1)X ЛX 1 15		被服造形実習Ⅱ		1	0	0				0	
		アパレル生産論		2	0	0		0			
		ファッションアパレル経営論		2				0			
被服管理		被服管理論		2	0		0				
服飾美•		造形芸術論		2	0		0				
服飾心理		服飾心理学特論		2		0		0			
		繊維商品学特論		2		0				0	
		統計学	実	2	0	0	0				
		生活環境学		2	0				0		
消費環境		生活環境実験		1						0	
		テキスタイルアドバイザー論	実	2					0		
		家庭経営学研究		2						0	
		衣料管理実習	演	1		0		0			
		生活情報特論	演	2					0		
		情報処理特別演習 I ~1	演	1			0				
情報処理		情報処理特別演習 I ~2		1				0			
		情報処理特別演習Ⅱ~1		1					0		
		情報処理特別演習Ⅱ~2		1						0	
杜山江水		外国論文講読		2	0		0	0			
特別研究		特別研究		8	0						
		計		64	44						

免許・資格取得の課程履修登録(短期大学部)

教員免許状及び諸資格を取得するための課程を選択履修する者は、次の手続きをしてください。

(1) 手続き方法

SEITOKU CAMPUS CARD (学生証) に履修費をチャージ (入金) し、指定の期日までに学生情報端末で申請手続きをしてください。手続き期間については、掲示にてお知らせいたします。(保育科、専攻科生は1年次の4月中に、総合文化学科は1年次の5月が手続き期間となります。)

学生情報端末の利用については、学生便覧を参照してください。

(2) その他

- ① 保育科の学生は、幼稚園教諭二種免許、保育士資格のいずれかの取得が必修となります。
- ② 保育科の学生で、幼稚園教諭二種免許、保育士資格の両方を取得する場合は、忘れずに両方の課程登録をしてください。
- ③ 履修登録の届けをしないで履修しても、課程は認定されません。
- ④ 履修途中において選択課程の登録を取消す場合は、正保証人連署の課程履修取消願いをクラス担任および科目担当教員の了承を得て指定期日までに、教育支援課に提出してください。(ただし、必修とする免許・資格の課程は取消しできません。また、課程履修費は返金されませんので、必ずクラス担任の先生と相談をしてください。)

別表22

					登録できる学科(〇印が可能)
	to the Worlds to	□ / / - th	保	総合	
	免許・資格名	履修費	育	合文化学	備考
			科	子科	
教員 免許状	幼稚園教諭二種免許状	30,000	0		
国家	保育士	60,000	0		
資格	図書館司書		0	0	※保育科は第一部のみ取得可能
	フードスペシャリスト (受験資格)	ı		0	
	衣料管理士 (テキスタイルアドバイザー) 2級	40,000		0	
民	ビジネス実務士	40,000		0	
民間資格	情報処理士	-		0	
格	秘書士	40,000	0	0	※保育科は第一部のみ取得可能
	観光ビジネス実務士	20,000		0	
	准学校心理士 -		0		※協会審査料、登録料、会費等については別途指示

[注] 学外実習費が別にかかる場合は、登録料手続きの際にお知らせいたします。

MEMO

MEMO



部科

コース 年 クラス

学籍番号 — 氏名